大正十二年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　五月廿八日(月)

定價　一ヶ月一圓　一部五錢　郵税一ヶ月十五錢
廣告料　普通一行一圓三十錢　特別同二圓五十錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　谷啓二郎

支那紡績經費　日本に援助を求む　在華紡靜觀の態度

【大阪國通】在華日本紡績同業會では廿六日午後三時綿業會館に委員會を開催、政府方面と打合せの爲上京の途にある船津總理事より經費難で在華紡に協力を希望する支那紡績の報告を聽き意見の交換をなしたが、邦人紡績としては積極的に關與せず靜觀する事になつた、尚在華紡では紡績聯合會と共に午後六時有吉駐支公使と對支問題に就き懇談した

南京政府の麥粉戻税實施で　營口日本物取引絶ゆ

【營口國通】南京政府が去る一日、外國小麥を原料とする麥粉を輸出する場合七十五キロに對し小麥百キロ分の輸入税の八十パーセントの戻税をなす」と聲明し、各方面に多大のショックを與へたが右聲明は去る廿日前後より實施されつゝあるもの如く營口市場にはその影響立ち所に現はれ四、五日前より上海もの小麥遂次下落しこれが爲め今まで日本物に壓倒されてゐた上海もの取引頗る旺盛となり、日本ものゝ取引は皆無となつた廿五日の相場は日本もの二圓二十七錢に對し上海もの二圓五錢で遠日十錢乃至十七、八錢の差がありこのまゝで推移せば日本もの小麥の前途は頗る悲觀さるゝ事となつた、尚上海製粉の原料は八十パーセント迄輸入品であり殘り二十パーセントが支那小麥である

四月中の支那全國　貿易額統計

【上海國通】四月中に於ける支那全國の貿易統計は昨廿六日發表されたが之に依ると貿易總額は一億四千二百八萬三千九百三十二元で前月に比し二十五萬四千四百九十六元の增加を示してゐる、之を輸出入別に見ると左の如くである（單位元）

△輸入　一〇〇、九六〇、三六九
昨年同期に比し　四六、二〇六、一三六（減少）
前月に比し　九、四〇六、〇一五（增加）
△輸出　四一、一二三、五六三
昨年同期に比し　三、九四〇、五五四（增加）
前月に比し　一、〇六〇、一四六（增加）
△入超額　五九、八三六、八〇六
昨年同期に比し　五〇、一五〇、七〇二（減少）
前月に比し　五四、二二二（增加）

尚右を貿易國別に見ると輸入に於ては米國の二千二百十五萬九千五百二十元が第一位を示し日本の一千百十六萬八千五十八元、英國の一千百十四萬六千六百六十五元が之に次ぎ以下ドイツ、英領印度、蘭領印度の順となり、前月並に昨年同期に於て米國が約三割方減少せる事と第二位を示してゐた英國が日本と入れ代つて三位となつたことが目につく輸出に於ては米國の六百二十六萬五千一元が首位を示し日

濠洲麥粉に押され　日本品輸出減　大連渡して二十五錢の開き

本年の一月以來濠洲産麥粉の滿洲輸出は急に增加し、これがため從來獨占的の形にあつた日本粉の對滿輸出は激減した目下日本内地當業間では相當問題視されてゐるやうであるがこれは濠洲粉が日本粉よりも割安であることに起因してをり即ち日本粉賣値大連相場は倉庫渡し平均二圓五十錢見當なるも、濠洲粉は二圓二十五錢である

新京を中心とした　綜合經濟情況（十一）　滿洲事情案内所調査

麥粉　諸種の事情で從來振はなかつた當地麥粉輸出は、環境の好轉と共にその生產も增加するであらうから、將來相當期待し得るに至るであらう（工業の欄、麥粉の項參照）

新京驛發送主要貨物數量（單位キロ）

品目	昭和七年度	昭和六年度
大豆	一七五、九五〇	三三二、三一〇
小豆	三二、七二四	三二、七〇一
吉豆	四、九二七	八、三三九
米及籾	二、四三八	九、〇四三
高粱	二一、〇一三	九〇、八六二
玉蜀黍	一、七一〇	三、三〇〇
粟	八、二二六	八、六六四
其他穀物	一七、八九五	四〇、八七七
豆粕	一六、七八一	三〇、八二一
麩皮	二、五二七	九、〇九九
葉煙草	一、九五六	三、四二七
木材類	三七、七六八	三四、九六二
麥粉	八、〇五〇	三六、一七〇
家畜類	七、一〇〇	七、四〇四
獸骨	一、七三一	三、四〇七
綿布	三、〇〇〇	二、〇七七
其他	一二七、一五九	六六一、三一四
合計	四四一、九六四	六〇四、九六九

一般狀況　新京の輸入商品及びその販賣狀況は今正に黃金時代と云へるであらう、誠に商界は嘗て見ざる好況に惠まれ忙を呈してゐる、しかし過去に徵するに其處には幾多の難關があつた

日露戰爭に於て日本の勝利となるや、當地にも本邦商品の進出を見たが、戰前牢固な基礎を有した露國商品は平和克復後も、再び市場に擡頭し、常に優秀な地位を維持してゐたるにその後歐洲大戰が勃發するや、列國の對滿輸出が中絶されたため、この好期に乘じて、獨り我が商品は著しく需要を喚起し、當地市場に於ける外國品は殆ど本邦商品となり、從つて當地輸入貿易は未曾有の活況を呈したのである

然るに、近年に於ける銀の暴落及地方通貨並に特產物相場の慘落は、輸入品の需要者たる華人側に甚大な打擊を與へ爲めに當地の商勢は頓に沈衰した、殊に外國品の至廉に比し本邦輸入品は依然として相場の低下を見ず、その前途は眞に憂ふべきものがあつた、一方之に對して、當時中國人の覺醒目覺しく、南北諸都市に各種工業が勃興し、國貨愛用のモットーに立脚した積極的官憲の奬勵保護によつて中國品がかなりの勢を以て、當地市場に進出して來たのであるかてて加へて輸入品の大宗たる綿絲布に於てすら地方兵匪の橫行、扨ては農民の窮迫等に依つて商況振はず、その他の雜貨、食料品等極めて不振狀態を見せ、當地日本人商店は共に苦痛のドン底に喘いでゐた

然るに一度び滿洲事變の勃發するや俄然形勢一變し、殊に當地が國都と決定され、續いて新京大都市計畫の發表さるるに及んで人口は日々に增加し、それに伴つて土建事業の勃興となり、凡ゆる物資は新京へ新京へと、嘗つて見ざる勢を以て輸移入さるるに至つたが、特に今後數年間は建築關係の材料が最も盛んな需要を見るであらう

四月中新京に於ける　金融經濟狀況（三）　＝朝鮮銀行支店調査＝

三、砂糖市況　春耕期に際し農民は何れも資金の逼迫裡にあることとて新規需要更に不起、河豆の出廻り亦尙早なりし爲奧地向賣行不振僅かに市■■量の補充買ありしのみなりき

例年昨今は吉林、九台方面向相當取引あるも、本月はかかる地方へも出ず全く不振裡に越月せり

月中相場は（一俵一三五斤入金票建）前月に比し幾分下落氣味にてJ印二〇圓三〇錢N印一九圓九〇錢、SH印一九圓六〇錢なりき

月中新京驛到着數量を見れば（單位噸）

年度別	四月	三月	對前月比
本年度	一四	一六八	△一五四
前年度	一六三	四〇一	△二二八
對前年比	△一四九	◎三〇七	

◎增加　△減少

四、麥粉市況　當地製粉界は依然として原料難に各工場は何れも共に休業狀態を續け居り輸入粉の活躍裡に經過し居れり

外粉の輸入も前月來飽和狀態にあり、加へて春耕期に際し居ることとて在荷の奧地向荷動き鈍く例年の三分の一に過ぎず、爲めに米國に於ける小麥不作、濠洲に於ける小麥相場の上騰等に陸續は强氣配なるにも拘はらず當地相場軟化し一等粉（寶船）は一袋につき高値二圓六五錢安値二圓六一錢の下落を示したり、當地入荷數量を見れば（單位噸）

前月	當月	前年四月
二、四〇〇	二、九六一	四、一六一

五、木材市況　愈々解氷溫暖期となりたるも滿洲國は六月末を以て會計年度末とせる關係上大土木建築工事も未だ着手され居らず軍部、滿鐵方面亦未着手の爲め當地必要木材數量の前途豫想つかず、從つて木材相場は幾分軟化氣配の儘保合を續け居れり

當地への入荷數量を見れば左の如し（單位噸）

線別	本月	前月	前年同月
新京驛	二、四〇三	八、二三	二、三四〇
京圖打切	一九、五五三	一〇、七〇三	一二、七二七
北滿打切	一、六一八	二、九六六	二、二一八
合計	二三、三五三	一四、一〇六	一六、三七三

尙月中平均相場は左の如し（單位フート）

品名	高値（圓錢）	安値（錢）
紅松四間物	一、〇〇	九五
同二間物	九五	八六
同四分板	一、〇四	一、〇〇
白松四間物	八五	八〇
同二間物	七五	七〇
同四分板	一、一〇	一、一〇

國境航路標識　滿洲國單獨工作陣容成る　總經費は廿五萬圓

【チチハル國通】某方面着情報によれば、滿ソ國境河川の水路問題は久しく兩國間の問題となつてゐたが、滿洲國側では單獨工作を講ずる事となり、ハルビン航政局に於て諸般の準備を進めてゐたところ愈々近く左の如き陣容で航路標識の施設其他の技術的工作に着手する事となつた即ち

第一區（黑河、同江）間七百十六キロを汽船（寧安號）ライター越雲、汽艇一の第一班並に第二區（虎林、同江）六百卅三キロを汽船、「銅山號」、ライター鴻興汽艇一の第二班とし各約四十名の技術員が嚴重な警備の下に工事を行ふが更に七月以降は第三班を第一區に第四、五班を第二區に增加する豫定で總經費二十五萬圓を計上してゐる

滿蒙拓殖協會　開原砂金採掘調査

【奉天國通】奉天富士町にある滿蒙拓殖協會では近く開原縣下の砂金採掘調査隊を派遣することゝなつたので開原縣では數名の警官を護衞のため隨行せしめることゝなつた

滿洲國の資源調査　倉内京大教授談

【下關國通】渡滿中であつた關東軍顧問倉内吟二郎京大教授は廿七日朝關釜連絡船で歸來東上したが、滿洲に於ける資源調査の近狀につき左の如く語つた

滿洲に於ける資源調査は中々困難な大事業であるが今年は昨年の經驗もあり少し方法を替へて採金會社から調査隊九班を編成し去る三月出發黑河黑龍江方面の奧地を搜索中である、又滿洲國側でも實業部に產業調査局を設置する事となり彼我一致して調査に努める事となつたので今年十一月頃迄には石炭石油等の滿洲の寶庫の全貌を知る事を得ると思ふから此の企ては國民も大いに期待をかけてゐると思ふ

全滿商議聯合會は　新京で開催

今秋新京において開催されることゝなつてゐた全滿洲商工會議所聯合會は會場の都合で今日まで決定をみてゐなかつたが、秋までには會場に貸るべく相當な人數を入れる建物も建築される見通しがついたので、いよいよ今秋の大會は新京商工會議所が主催となり新京で開催することゝなつた

英米煙草工場　職工罷業

【上海廿七日發國通】當地英米煙草會社が去る十二日舊工場を閉鎖し職工一千名を淘汰した事に端を發し、新工場職工五千餘名が廿四日以來同情罷業を決行した事は既報の如くであるが、其後職工側では各勞働團体當局方面に對し檄を飛ばし諒解援助を求めて益々强硬態度に出で會社側でも當地に在る失業白系露人を雇ひ入れ應急就業せしめ、その儘何等の解決手段に出でず、その形勢は益々紛糾擴大の兆がある

松花江筏流し　漸次活況

【吉林國通】吉林名物松花江の筏流しは解氷以來木材の出廻りにつれ漸次頻繁となり最近は糧石筏も加へて頓に活況を呈し吉林碼頭日々の到着數實に十數流宛を數へられてゐる

日滿悲曲　生命線を行く（百八十二）（諸上演上映）

國友雄吉　（荒川芳三郎畫）

石膏像の破片

久彌は、旅を終へて、東京へ戻つて來た。

歸つてみて、伸一も、茂彦も、ともに家に居ないといふことが、彼を不安にした。

「兄さんは、どうしました?」

旅裝を解く間も、もどかしさうに、先づ母夫人に聞ふてみた。

それに對する夫人の答へは、

「居ませんよ」といつた、頗る冷な調子であつた。

「居ないつて──?　いつたい、何處へ行つたんです」

「旅行をしたの──」

「旅行といつて、茂彦と兩人ですか──行つた先は、何處です?」

「それが、何處へ行つたか、さつぱり分らないの。あたしたちには、口も碌に、利かないやうにして、默つて行つたんだから──」

しかしそれは、到底有り得ないことのやうに、久彌には思はれた。さうした母の、冷やかな態度に、女中のひとりに訊いてみた。

「兄さんの書齋の石膏像が毀れてゐるね。あれは何したんだい?」

思ひがけないその質問が、忽ち當の女中を困らせてしまつた。

それは、明らさまに言つて宜いか、惡いか、わからないことであるし、さうかといつて、突然のことではあるし、差當り、適當な遁辭が見出されなかつた。

「まあ、さうでしたか。あたし、少しも存じませんわ──」といつて、一時の場合を繕つて置くよりほかはなかつた。

しかし久彌は、

「やつぱり、何かあつたのだ」といふことを、直覺した。

今度は、姉の楠のところへ行つてみた。

彼女は、ちやうど室に居たが、二人はお互にシツクリと、反の合はない間柄であつた。

久彌は別に、麗々しいといふほど、荒つぽくしたのではなかつた。けれど楠は、もうすぐに眼に角立てゝ、

「マア、麗々しいわよ久さん。どうしたのさ」と大袈裟であつた。

久彌は、なんと言はれやうが、更に耳にも入れないで、姉と向ひ合つて、ドッカリ椅子にかゝつた。すると、

「久さん、おまへさん、伸一兄さんのことを、あたしに訊きに來たのね」と、かへつて楠の方に先手を打たれ、久彌もさすがに、それには、一本參つた。

「あんな、醜い兄さんてありやしない。牛込の兄さんに喧嘩を吹つかけて、投げ打ちをしたり、するんだもの──」と、楠はつゞけさまである。

「えツ、家の兄さんが──」といつて、久彌は、驚き且つ惑つた。

「その喧嘩だつて、牛込の兄さんに、ちつとも無理はないわ。子供を連れて、藝者遊びに行つて、そして料理屋で泊つて來たんだもの。それに叱言をいはない人があるでせうか」

久彌には一言も、物を言はせまいとするかのやうに楠は、まくし立てるのである。

の裏には、きつと、何かゞ、潜んで居るやうに、想像されてならなかつた。

兎も角も彼は、兄の書齋へ行つてみた。

若しや、自分に宛てた手紙でもと思つて、あちらこちら搜してみたが、彼は失望した。手紙らしい物は、何處からも發見されなかつたのである。

ドッカリと椅子に倚りかゝつていろいろと、想像をめぐらしてみた。しかし、考へれば考へるほど分らなくなつて、いたづらに、不安が增すばかりであつた。

そして、彼が、何心なく、書架の上に目を遣つた時、不斷見馴れてゐた石膏像が無くなつて、しかも無殘に打ち碎かれたその破片が、取り捨てもせず、そのまゝ置いてあるのが發見された。

石膏像が、こわれて居つたからとて、或ひは、なんでも無いことなのかも知れなかつた。

しかし、それを只、それだけの事として、看過ごして置けない或るものが、久彌の心の中に動いてゐた。

彼は、臺所の方へ行つて、訊み

船名	大連港出帆日
ばいかる丸	一日
えあごる丸	三日
扶桑丸	四日
はるびん丸	五日
亞米利加丸	六日
うらる丸	八日
香港丸	九日
たこま丸	十日
うすりい丸	十二日
ばいかる丸	十三日
えあごる丸	十四日
扶桑丸	十六日
はるびん丸	十七日
うらる丸	二十日
たこま丸	廿一日
うすりい丸	廿三日
ばいかる丸	廿四日
えあごる丸	廿六日
扶桑丸	廿八日
はるびん丸	卅日

青葉そよぐ薫風に 選士の意氣揚る！

三國誌さながらの繪卷物展開 龍攘虎搏の大試合

慶祝大典 武道大會開催

晴の天覽試合を前日に控へ滿洲國主催の慶祝大典武道大會は廿七日午前十時大同自治會館脇の野球場に於て擧行された

この日昨日來の雨も名殘りなく晴れ、西公園の青葉をそよぐ薫風爽かに、幔幕を張りめぐらした會場に流れ、絶好の武道日和である、招待席には西尾關東軍參謀長、丁交通部大臣、宇佐美顧問始め日滿大官多數臨場、一般觀覽席には日滿各團体、學校生徒並に武道愛好者がギッシリ詰めかけて、選士の入場する度に聲援の拍手を送り、各地方より選拔された晴れの柔劍道選士は紅白に分れた定めの席に就き、試合開始の合圖を待つ、緊張の刻一刻は過ぎ、やがて定刻十時審判員より試合開始が宣告され、先づ柔道は關東軍司令部對撫順中學、劍道は本溪湖武道奬勵會對撫順中學の紅白試合の幕が切つて落され、龍攘虎搏、劍頭相磨す大試合は展開された同十二時までに左の勝負を以て第一回戰終了し、次で全滿より集つた滿洲劍士の手で武術の型が演ぜられたが、三國誌の繪卷物を見るが如き觀を與へ、日滿觀衆の興味を誘つた、正午迄の試合經過左の如し

□劍道團体試合第一回戰
（勝）（負）
撫順中學 本溪湖武道奬勵會
滿鐵大連道場 承德劍道部
ハルビン國際運輸 關東軍二組
瓦房店武道奬勵會 新京商業
營口道場 滿洲國二組
大連若葉會 奉天警察署
滿鐵運動會新京支部 南嶺步兵部隊
新京憲兵隊 滿鐵運動會大石橋支部

□柔道試合第一回戰
（勝）（負）
關東軍司令部 撫順中學
奉天警察署 北票振武會
瓦房店武道奬勵會 新京商業
大連實業聯合軍 滿鐵運動會新京支部
撫順道場 滿洲國武道會新京柔道部

經過續報

△劍道團體試合（甲組）
（勝）（負）
滿洲國政府 鞍山道場
ハルビン國際運輸
新京警察 關東憲兵隊司令部
奉天滿鐵道場 四平街道場
撫順中學
△劍道團體試合（乙組）
（勝）（負）
滿鐵大連道場 弘道館
滿洲醫大劍道部 滿鐵新京支部
大連若葉會 新京領事館警察
撫順體協劍道部 營口道場
△劍道團體試合（甲組）
（勝）（負）
ハルビン國際運輸
新京警察 滿洲國政府（一組）
奉天滿鐵道場
△劍道團體試合（乙組）
（勝）（負）
奉天醫大劍道部 滿鐵大連道場
撫順體協劍道部 大連若葉會
△劍道（甲組）準優勝戰
（勝）（負）
新京警察 ハルビン國際運輸
△劍道（乙組）準優勝戰
（勝）（負）
撫順體協劍道部 奉天醫大劍道部

△劍道團體試合優勝戰
（甲組優勝組）（乙組優勝組）
新京警察 撫順體協劍道部
劍道團體試合優勝戰は甲組の勝者新京警察と乙組の勝者撫順體協劍道部との間に行はれ撫順側の大將外村の力戰空しく新京警察の副將古川に倒さる、かくて劍道團體試合は新京警察が優勝す

△劍道個人試合
第一回戰
（勝）（負）
高木（四段）棄 高橋（四段）
飯島（四段）—增田（四段）
山口（五段）棄 佐藤三（五段）
佐藤（四段）—山本（五段）
林（四段）—出口（五段）
宮澤（四段）—前田（錬士）

第二回戰
○高木 面二本とり 飯島 勝つ
○山口 胴、こて 阿部
○林 こて、面 佐藤
○宮澤 棄權 竹内

劍道團體試合第三回戰後滿洲國武技の演技は觀覽者に非常な人氣を博し拍手をもつて迎へられたが中にもカー倫警察署穆剛泉氏の令孃雁笙、（一一）さんの武技は大會中の紅一點であつた

準優勝戰
○山口 面、胴 高木
○宮澤 胴二本 林
優勝戰
○宮澤 こて、胴 山口
個人試合優勝戰に於て宮澤好守よく機に臨み强敵山口を屠りて優勝す

△柔道試合第二回戰
○旅順工大（二組） 大連實業聯合軍
○撫順道場 關東軍司令部
○奉天警察署 新京商業
△第三回戰
○奉天滿鐵道場 新京武德會支部道場
○滿洲國中央銀行 ハルビン武道部
○撫順道場 大同學院
○旅順工大 奉天警察署
△準優勝戰
○旅順工大 撫順道場
○奉天滿鐵道場 滿洲國中央銀行
△優勝戰
○奉天滿鐵道場 旅順工大

柔道團體試合優勝戰は全試合ねばり一方で通した旅順工大はこの試合に大將佐々木のガンバリも效なく奉滿道場の鬪將高橋に見事な背負投げを喰はされ奉天滿鐵道場に凱歌擧る

△柔道個人試合
準優勝戰
○眞野（新京、四段）—秦（新京、四段）兩選士は技倆伯仲で勝敗何れとも見えず遂に引分けとなり第二回戰に於て眞野腰投げで決勝す
○佐藤（撫順、四段）—東（大連、四段）佐藤、東最初よりねばりねばり續け結局引分けとなつたが第二回戰に於ては東優勢と見えたが又復引分けとなり抽籤の結果佐藤の勝となる
・優勝戰
○眞野—佐藤

政變は來月初旬か 清浦内閣最有力

政民兩黨の意向對立

【東京國通】清浦伯の歸京と卅一日の宇垣朝鮮總督の上京とで政界は一段と活氣を呈して來たが、鈴木政友總裁は周圍の幹部をして、鈴木氏以外の後繼内閣は斷乎排擊すると

＝放逐＝せしめ、民政黨相談を持ちかけて來た、民政黨では殆ど全部鈴木總裁を嫌ひ、床次氏ならいざ知らず、首相の器でない鈴木總裁の聯立内閣は斷るといふのが首腦部の意向である、民政黨では未だ憲政常道復歸が困難で、政黨を基礎とする非常時内閣も止むを得ぬとの立前から、黨を擧げて宇垣内閣の出現を希望し、賴母木、富田、川崎克、牧山等の宇垣派始め町田櫻内、川崎卓氏等の主流も皆熱心に贊成し　宇垣内閣は鈴木一派は反對しても床次、久原系よりは個人的に入閣するであらう、或は此のため分裂騷ぎが起るかと成行は注視されてゐる、軍部反對等で宇垣總督の出場が困難の際は清浦伯でも止むを得ずと黨内大部分は觀てゐる但し小橋、櫻内、松田、大麻、其他清浦伯の近親者は

＝老軀＝を案じて伯の出馬を引留めてゐる、清浦伯も後繼内閣には宇垣總督を推擧してゐるが、場合によつては其の出場を餘儀なくされるかも知れぬ、清浦伯の場合同郷で且つ親密の間柄にある國同の安達氏の入閣を怖れてゐるがこれも杞憂に過ぎまいとの樂觀論が勝を占めてゐる民政黨首腦部は來月始めか十日前後に政變あるものと豫測してゐる

三五、六年の切迫で 莫大な海軍豫算

十年度の新規要求額豫想

【東京國通】昭和九年度豫算で問題となつた海軍補充計畫に基き兵備改善費は十年度でも補助艦艇建造及び航空隊增設の如き其の主要部分は依然繼續計上されてゐるのみならず一九三五、六年の切迫と共に國際情勢の緊張、造艦技術の發達は再び海軍豫算を重要問題たらしめ十年度に於ても莫大なる新規要求あるものと觀測されてゐる、特に水雷艇友鶴の遭難で生じた復源力增大要求は海軍として絶對的に必要なもので十年度に於て右に關する解裝費は頗る多額に上るべく大藏主計當局では早くもこれを見越し對策考究中であると、即ち海軍省では復源力增大のために、啻に建造濟みの水雷四隻、第二次補充計畫に屬する五千噸以下の諸艦艇のみならず汽船、主力艦巡洋艦解裝も意圖してゐるので經費は驚くべき巨額に上るは疑ひなく、右に關する海軍大藏兩省間の交涉こそ十年度豫算編成途上の重大問題として注目さる

清浦伯爵の上京で 政界果然活況

宇垣總督も近く着京の豫定 藏相の態度を重視

【東京國通】帝人問題表面化以來政變必至として大小策士の暗躍熾烈化して居る最中に滯洛中の清浦伯先づ二十六日夜歸京し、惑星宇垣總督の三十一日入京を控へて政局は果然

＝活況＝を呈するに至つた、而して政府が責任を痛感しながらも愼重なる態度に出で自重靜觀を持續する以上政局は依然として不安裡に彷徨する譯で其間に倒閣運動が行はれることは當然であり、從つて四圍の客觀的諸情勢が何時迄も政府の靜觀を許すものとも考へられず又直接監督の責任者たる高橋藏相が、今回の問題で銀行局が潰滅に瀕したので極度に動搖した大藏省の陣容を建直して省内人心の安定を急務としたのは是認し得るとしても、陣容を整備したる上は當然自己の責任上何時辭任を表明するか豫測されず、又問題は今後進展する可能性が充分に認められて居る情勢に在るから若し重大なる

＝進展＝を見るに至れば大變動を來すものと觀られ要するに高橋藏相の今後の態度と事件そのものの進展如何とが今後の政局を左右するバロメーターとして政界各方面から重視されてゐる現情である

小原控訴院長 二十七日朝來京

滿洲國司法制度視察の途にある東京控訴院長小原直氏は二十七日午前七時新京に到着、滿洲屋旅館に投宿するが氏の滯京中の豫定は左の如くである

△二十七日午前南嶺戰跡見學午後六時馮司法部大臣の招宴
△二十八日午後六時三十分、新京發吉林へ、同夜歸京
△二十九日午前九時より滿洲國側各官廳訪問午前十一時參内皇帝に謁見、午後一時司法各機關視察

尚氏は來月六日頃迄各地司法狀況を視察の上歸任する豫定である（寫眞は中央小石氏）

人事往來

張燕鄉氏（實業部大臣）二十八日午前七時來京
▲八田四郎氏（拓務省警務課長）二十八日午前八時三十分發哈市へ
岡村少將（關東軍參謀副長）二十七日午後四時四十分着來京、四平街から
▲高橋中將（築城本部長）二十七日午後七時三十分來京大連から
▲三毛少將（第〇〇〇〇隊司令官）同上奉天から

團体

▲青木信光氏（貴族院議員）二十七日午後九時三十分着吉林から
▲福岡農業專門學生二十六名二十八日午前九時五十分發南行
羅振玉氏（監察院長）同上

海軍記念日當日に 東郷元帥初めて欠席

高齢でもあり容態憂慮さる

【東京國通】日本海大戰廿九周年記念日に東郷元帥が初めて缺席した、それは全く一沫どころではない淋しさであつた、元帥の病氣も近親者並に加藤主治醫つききりで療養に努めてゐるが、八十八の高齢でもありそれに總入齒なので食事も思ふ樣に攝れぬので憂慮されてゐる、この日元帥邸は初夏の綠の爽やかな香氣に包まれ朝から東郷會の人等がお見舞に來邸する、各方面からの電報も數百通に達し九時半には小學校生徒五百人が例年の樣に花束と祝辭を持つてお祝に來たが今日は供等の東郷さんの溫容が見へぬので一同は萬歲も唱へず靜かに引下つて行つた、午後四時には齋藤首相も見舞はれた

九時の容態

【東京國通至急報】廿七日午後九時東郷元帥の容態につき福井軍醫大佐より左の如く發表された

二十七日午前十時五十パーセントの葡萄糖溶液五百グラム强心劑、皮下注射、食事は重湯五十グラムを攝られた、體溫三十五度五分、脈搏百二十、呼吸三十（午後九時現在）

林副官發表

【東京國通】林副官の發表に依れば東郷元帥廿七日午後十一時の容態左の如し十時半葡萄糖リンゲル氏液七百グラムの皮下注射を行ふ、容態は異狀なく靜かに安眠せられ意識は明瞭である

小林司令官以下 平癒祈願

小林駐滿海軍部司令官は廿七日公式海軍記念日祝賀を終つて後現役在鄉の海軍々人を集め祝宴を開いてゐる際、東郷元帥危篤の報に接し宴會を中止し全員百數十名は直に新京神社に參拜平癒祈願をこめた

小康狀態に

【東京二十七日發國通至急報】東郷元帥は午後十一時半小康狀態にある

憂色につゝまれた 元帥邸の混雜

【東京國通至急報】東郷元帥は別項公表の如く憂慮すべき狀態に陷つたので同邸は廿七日午後齋藤首相、大角海相、山本内相及び野村、小林各軍事參議官、菊池中將　其他名士の見舞客で混雜し憂色につゝまれてゐる

重態の報天聽に達し 陛下深く御心痛

果物一籠を御下賜遊ばさる

【東京國通至急報】天皇陛下には東郷元帥の病氣惡化に痛く御心痛あらせられ御見舞として果物一籠を御下賜あらせられた

見舞客相次ぐ 容態詳報

【東京國通】東郷元帥の容態は危險となつたので令息彪氏は廿七日午後五時半宮中に參内、鈴木侍從長を通して元帥の容態を言上し　皇太后陛下各宮家、牧野内府、本庄侍從武官長へ報告した

重態の元帥は麴町の自邸で南向きの奥八疊に病臥して居り神經痛の爲に足腰立たず、テツ子夫人（七四）彪氏夫人、看護婦三名、加藤主治醫が病床に侍し枕頭には　皇太后陛下御下賜のけしの花が、床の間には元帥刀が飾られてゐた

國府田局長談

きのふよりも良好

（東京國通）海軍省の國府田醫務局長は二十八日午前七時五十分東郷元帥邸に赴き診察したが、國府田醫務局長の談に依れば元帥の今日の容態は二十七日より良好であると

宵闇の頃伏見宮殿下の御使として松永副官、齋藤首相、大角海相、谷口尙眞、末次信正、中村良三、山本英輔、小林齊造、野村吉三郎の各大將、午後九時には財部大將、同十時には閑院宮殿下御使の泉名副官、東郷元帥の代理で靜岡縣へ出向いてゐた小笠原子も急ぎ歸京見舞に來た

元帥は昨年夏より健康を害し此の二月以來相當憂慮すべき狀態が續いたがその後病勢加はり二十六日加藤博士外四博士が共同診察し喉頭癌を切開すべきや否やの協議をなしたが老齢の上衰弱してゐるので手術不可能と決し能ふ限りの治療を加へ神かけて快癒を祈る外なしとなつたものである午後十時の容態は體溫三十五度五分脈搏百二十、呼吸三十午前十時に葡萄溶液五百グラムと强心劑注射、重湯五十グラムを攝つたが喉のため食事不可能、リンゲル注射をなした

政局の危機を控へ 豫算の編成遷延か

即時引責總辭職强調さる

【東京國通】明年度豫算編成概算方針は來月上旬の次回閣議に附議決定を見るのであるが、本年は帝人事件により政局の重大危機を

＝招來＝して居るので現内閣として其の見極めをつけずに果して重要政策たる豫算の概算、方針を決定し得るや各方面より多大の疑問と危惧の念をもつて注視せられて居る、即ち現内閣が一應辭觀主義をもつて臨んで居るとはいへ財政責任者たる高橋藏相は大藏省内に於ける人事行政上の不始末から當然其の責任を負ふべきであるとせられ、藏相補佐の任にある堀切政務次官の如きは即時引責辭職論すら强調してゐる程である、現内閣の重要政策たる財政税制の整理刷新はもとより當面の明年度豫算編成の如きも此の非常事態の前には

＝詮議＝の餘地なしとして殆んど一顧も與へない狀態である、從つて非常時財政建直しの第一歩を踏み出すべき明年度豫算編成の根本方針も宙に迷つた形で其の決定も自然遷延するものと觀られてゐる

海外經濟

▲銀塊及爲替
品目	値
倫敦銀塊	[illegible]
同・遠限	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]
紐育銀塊	[illegible]
米英爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナゴンダ株	[illegible]

▲米棉
限月	値
現物	[illegible]
六月限	[illegible]
八月限	[illegible]
十月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]

▲印棉
品目	値
ブローチ	[illegible]
オームラ	[illegible]
ベンゴール	[illegible]

▲上海標金
項目	値
本寄	[illegible]
歩値	[illegible]

▲上海日本向
回	値
第一回	[illegible]
第二回	[illegible]
第三回	[illegible]

▲上海倫敦向 賣値 買値 [illegible]
▲上海紐育向 賣値 買値 [illegible]
▲大連金鈔票 現物 限近 寄付 歩値 [illegible] 出來 [illegible]

各地市場

▲大連上海向 引止 高値 安値 出來高 [illegible]
▲大連煙台向 [illegible]
▲阪神日米爲替 第一回 [illegible]
▲大阪株式 大株 大新 鐘紡 同新 [illegible]
▲同短期 [illegible]
▲大連株式 大新 鐘新 東新 日産 [illegible]
▲大阪三品 五品 先限 豆新 [illegible]
▲大阪棉花 當限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 先限 [illegible]
▲大阪期米 當限 先限 [illegible]
▲仁川期米 當限 中限 先限 [illegible]
▲横濱生糸 當限 中限 先限 [illegible]
▲神戸豆粕 當限 先限 [illegible]
▲大連特產 五月限 六月限 七月限 [illegible]
カルカッタ麻袋 青筋 黄筋 爲替 [illegible]

新京市況

品目	限月	値
麻袋	現物 六月限 十月限	[illegible]
大豆	袋込 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限	[illegible]
豆粕	現物 六月限 七月限	[illegible]
豆油	現物 六月限 七月限 八月限 九月限	[illegible]
高粱	現物 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限	[illegible]
現物 出來高	特產 大豆 高粱 小豆 包米	[illegible]
錢鈔	鈔票 國幣對金票 現大洋對鈔票 現大洋對鈔票	[illegible]

突如赤帽問題に曙光？
本年度は千二百圓寄附を谷口氏から申込み
將來を約束せぬ條件で体協一應折合ふ

現業者側の誠意なき回答によつて、兩者は完全に決裂し、今はたゞ鐵道事務所長の公平なる裁斷に待つことになつてゐた赤帽問題も二十七日に至り、從來三百圓程度の寄附を固執してゐた現業者谷口氏も事の重大性に極度に狼狽し結局千二百圓程度の寄附をなすべく、荒木地方事務所長に

調停

方を依頼した、この旨に接した体育聯盟側では二十八日午前九時から地方事務所内で緊急幹事會を開いたがその結果谷口氏の申出たる金千二百圓は体聯側の主張とは多大の開きはあるが、御名代宮殿下御來京を前に控へてこのまゝ紛糾をつゞけるは面白くなく、この際此方も讓步して

一、本年度は右千二百圓の寄附を以て折合ふこと

一、但し右金額は谷口氏の從來の態度に徵してこの際必ず前金にて申受けること

一、右は本年度のみの寄附にして、決して將來を拘束されるものでないこと

に一決し直ちに同日午前十時鐵道事務所内で芳賀所長以下同事務所幹部

立會

の下に谷口氏と体聯幹事との間に最後の會見が行はれる段取であつたが、折柄谷口氏は外出不在中であつたので本日午後に延期される事になつたこれで紛糾に紛糾を重ねた同問題に一縷の曙光を見出したわけで唯殘る問題は谷口氏は果して申出通りの千二百圓を前金を以てするか否か、未だ疑問はあるが、しかし体聯側としてこれ以上讓步の余地なく萬一谷口側が前金を以てせなければこゝに谷口氏は飽くまで誠意なきものとして斷然受付けず、問題はそのまゝ舊に返へるわけである

模擬艦も練り廻り 祝賀氣分横溢
西公園は素晴らしい人出だ
新京の海軍記念日

東郷元帥が皇國の興廢を賭してバルチツク艦隊を日本海に擊滅し世界海戰史に輝かしき一頁を飾つてから今日はその三十周年第二十九回の海軍記念日である、此の日首都新京は前日來の雨もカラリと晴れ澄み渡つた青空には國旗や旭日旗が翩翻と飜へり巷には勇ましいラッパの音や軍歌の聲が高らかに響き渡り將に軍國日本の姿を思はせる、午前九時より驛前を出發した海軍協會、長友會主催の軍艦三笠、朝日、富士、敷島、龍田に擬した自動車五臺は海軍旗を押し立て水兵さんや學生を滿載して軍艦マーチも勇ましくビラを撒布しながら街から街を練り廻り軍國氣分を横溢させる、一方西公園では海軍記念碑の前で嚴かな海軍記念祭典が擧行され、今日の佳き日を記念日とする福岡縣、大分縣滋賀縣の縣人會が紅白の幔幕を萠出づる若草の上、かしこゝに張りめぐらし運動會や野遊會を催して押し寄せる散策の人と共に西公園は人の波だ、正午からは官民合同の記念祝賀會が西廣場小學校に擧行され夜は午後七時三十分より同校に於て時局後援會、海軍協會主催の映畫會が催されたがいづれも大盛況であつた

岩坂海友會長 挨拶に來社

新京海友會長岩坂杢三郎氏は二十八日、海軍記念日の盛大に擧行された謝禮挨拶に來社

盛況を極めた 海軍記念日祝宴
日滿官民九百余名參會

官民合同海軍記念日祝賀會は二十七日正午西廣場小學校講堂で開催、駐滿海軍部司令官招待による滿洲國々務總理以下各大臣參議その他、菱刈軍司令官以下文武官ならびに各界代表それに一般有志の參會者約九百名列席、先づ國歌を合唱し別項の如き小林司令官の挨拶があり、桑折侍從武官携來の恩賜の清酒を頒たれ同司令官の發聲で　天皇陛下萬歲を三唱開宴、宴酣なる頃吉澤總領事の發聲で大日本帝國萬歲來賓張軍政部大臣の發聲で日本帝國海軍、菱刈軍司令官發聲で滿洲帝國萬歲を唱和し、四戶鄕軍聯合分會長の感話、岩坂同副會長指揮で駐滿海軍部水兵と會衆一同の軍艦マーチなどがあり盛會裡に歡をつくして一時頃散會した

小林司令官の挨拶

新京西廣場小學校に開かれた廿九回海軍記念日祝賀會に於て小林駐滿海軍部司令官は左の如き挨拶をなした

御承知の如く本日は廿九年前の昔、かのバルチツク艦隊を擊滅したる日本國民の忘るべからざる日であります、當時皇國の興廢正に岐れんとした時機に當りまして全國民的結束を如實に反映しまして國難を突破し得た一大記念日であります申す迄もなく今日は內外共に多事でありまして凡有る意味に於て日露戰役當時よりも更に重大なる時に遭遇してゐると考へます、東洋恒久平和の維持、之即ち日露戰爭當時我國運を賭して贏ち得んとしたものであります、が我國是として終始一貫變らぬ處の大精神であつて今日の非常時に於ける努力も亦之に他ならぬのであります、日本が國際聯盟脫退をも敢へて辭せず單獨承認致したることの滿洲帝國も國礎既に定まり、今回サルバドル共和國の承認を見着々健實なる發展の途を辿つて居ります事は誠に同慶の至りに堪えませんが翻つて見まするに東亞否世界の形勢はたゞならぬものがあり、この間に於ける日本の自主的態度の不變なるべき事と滿洲帝國の健實な進步發展の實績とは以て今後東亞民族の向ふべき處、即ち日本の抱懷する東亞平和維持の大精神を實證確認せしめる大試練であると信じます試練即ち今日の非常時を突破するは即ち我國本來の使命を達成する所以でありますが之を自覺して擧國一致更にその覺悟を堅くし之に邁進し度いものであります、誠に我々の任務も重且つ大なるを覺ゆるのであります、今日この重大時機に當つて特に滿洲の地に於て海軍記念日を迎へるは誠に意義ある事と考へます

初夏に狂ふ街頭悲劇
一寸した口論から毆られて絕命
自動車運轉手と監督の喧嘩

二十五日正午ごろ國務院自動車倉庫內で運轉手監督練石是(四一)同運轉手山川大(三二)の兩名が一寸のことから口論し、山川は興奮の余り練石監督を突飛ばすやふいを喰つた練石氏はその場に轉倒し頭部を强打し滿鐵病院に入院應急手當中、二十七日午後四時、內出血を起し絕命した、届出に接した新京總領事館署では直に加害者山川大を傷害致死被疑者として同署に留置し目下取調中である、死体は二十八日滿鐵病院で塚本院長執刀の下に解剖に付されることになつた

驛助役室引越し

新京驛助役室はいよいよ二十八日工事完了したので同日午後から新設助役室に移轉したなほ助役室にはバス交附、改札、旅客案內、ラッドスピーカー、警手なども同室で事務をとる

前借して逃走 女給の影に動く男

大分縣別府市中濱通中野け婆一こと指原今朝男(三二)は圖們飲食店都食堂で女給として働いてゐた元藝妓德岡百技(三三)を言葉巧みにそゝのかし百五十圓を前借させた末、家人の目を盜み二十七日午後八時ごろ新京に逃走し、市內東一條通を通行中圖們署からの手配で新京署井上刑事に逮捕された

軍用列車を顚覆し匪賊、わが軍を襲ふ
森田部隊、敢然これを擊滅
我方死傷卅八名

【關東軍司令部發表】森田部隊は二十六日軍用列車で梨樹鎭に向ふ途中午後三時ごろ三道子(八面通南方三キロ)北方約四キロの地點に於て匪賊の計畫的顚覆に會ひ、引續き約五百の匪賊の襲擊を受けた我部隊はこれを攻擊し夜に至るまで追擊して匪賊に●滅的打擊を與へた、匪首は中挾と言ひ附近の郡小匪賊を合流せしめたるもので、我が損害は戰死者十二名重傷者十名、輕傷者十六名の見込である、なほ敵の遺棄せる死体三十二名兵器、彈藥多數捕獲した

光榮の高齡者 申出は早く

近く御來滿の秩父御名代宮殿下が、新京神社御參拜の際七十歲以上の高齡者をして神社參道にて御迎へ申上げることが許可になつたのでこの光榮に浴したいものは地方事務所地力係に申出でその指示を受けらるべしと

函館義金に千圓 梨守信部隊

梨守信部隊では函館火災救援義捐金として一千圓の寄附申込を關東軍司令部に傳達した

寫眞說明

寫眞上からきのふ海軍記念日の記念祭典、市中を行進する三笠艦、御大典慶祝記念武道大會の會場と滿洲武技

全新京勝ち 滿洲國軍惜敗
對安東チーム野球戰

遠來の安東滿俱野球チームを迎へての滿洲國チーム並に新京クラブ野球戰は何れも廿七日西公園野球場に於て擧行されたが安東軍は滿洲國チームに八A對七で勝ち、新京クラブに二A對一で敗退した、戰續左の如し

△安東滿俱對滿洲國チーム戰は午後零時五十五分小野、藤戶、杉田三氏審判、滿洲國先攻で開始、一回安東軍は三安打と二四球と一敵失に四點を擧ぐれば二回滿洲國軍は一安打と三四球(內死球一)と二敵失に五點を奪ひ、同回裏安東軍は服部瀨戶山の安打で更に一點を加へ三回滿洲國軍が敵失を利して二點をリードすれば同回安東軍は堂々たるアーンドランに依つて二點を返し七對七の同點となる、更に安東軍は四回酒井(弟)の二壘打に貴重の一點を擧げ、その後は兩軍の好守好防に双方得點なく八A對七で凱歌安東軍に擧る閉戰二時五十五分、兩軍メンバー及スコアー左の如し

滿洲國 0 5 2 0 0 0 0 0 0 —7
一二三四五六七八九
安東 4 1 2 1 0 0 0 0 A 8A

滿洲國
橋本原木原松田原木
高岡水赤栗赤竹柳鈴
(7 (9 (14 (3 (8 (5 (2 (141 (6

打數三二、得點七、安打七、犧打二、盜壘三、三振二、失策二

安東
部島山(兄)(弟)藤馬山元
戶井井
服北瀨酒酒加有野福
(31 (5 (9 (2 (7 (13 (4 (6 (8

打數三七、得點八、安打一二、犧打一、盜壘四、三振三、失策四

△二壘打　酒井(弟)水原
△三壘打　野見山
△捕逸　赤松　酒井(兄)一
△併殺　安東一
△試合時間　二時間

引續いて安東軍對新京クラブ戰は午後三時五十五分赤木、高橋、水原三氏審判、安東先攻で開始された、安東軍は三回野見山中前安打して出で福元の犧打に送られ服部の遊匍に野見山三壘に刺されたが此の間に服部二進し北島の二壘越テキサスに一點を先取し其の後兩軍無爲に進んだが六回新京田中四球に出で二盜し小幡左飛で一死後古賀の遊匍に三進、淺香の三匍失に一點を得同點となり、更に新京は八回川田右中間安打し田中の犧打に送られ小幡の左前安打に一擧本壘を衝いて酒井の好投に刺されたが此の間に小幡二進し古賀の左前安打を酒井一寸ハンブルする間に小幡貴重な一點を擧げ、九回安東三名凡退して遂に二A對一で遠征軍淚を呑む、閉戰五時三十分兩軍メンバー及スコアー左の如し

新京
中幡賀香橋井戶輪桑田
田小古淺高藤藤三高川
(5 (6 (2 (8 (3 (1 (4 (7 (7 (9

打數二七、得點二、安打五、犧打一、盜壘一、三振四、失策〇

安東
部島(兄)山(弟)瀨藤馬山元
井戶井　見
服北酒瀨酒筒加有野福
(1 (5 (2 (3 (7 (9 (9 (4 (6 (8

打數二七、得點一、安打三、犧打三、盜壘一、三振二、失策一

△併殺　安東一
△試合時間　一時間三十五分

新京 0 0 0 0 0 1 0 1 A
一二三四五六七八九
安東 0 0 1 0 0 0 0 0 0
1—2A

秩父宮殿下新京神社に御成りの際當地在住者中七拾歲以上の邦人は同社境內に於て御奉迎方許可ありたるに就ては該當者は六月一日迄に地方事務所地方係まで御申出相成り指示を受けられ度し

五月二十九日

新京總領事館
新京地方事務所

新版 江戸八景

（禁上映上演） 行友李風氏作 鏑木平也二氏畫

江戸役者と御殿女中 五七

行友李風

『ふうむ――』

奉行丹波遠江守から、委細をきいて、老中秋元但馬守。あまりのことに胆をつぶし、太い息をもらした。

『これは、容易ならぬこと……外々の大名なれば、大公儀よりして、上樣のお耳にもいれ、きつと、お手入れ、御吟味もあるべきぢやが、……尾張殿と申せば、御親藩御三家。――それもならず。……まことに、困つたことに相成つたものぢやのう――』

『さように、ございまする……』

遠江守も、おなじく、途方にくれるばかり。

やゝあつて、但馬守が。

『これは、身共の一存にもまゐらぬ。大老始め他の中老にも、相談いたすとしよう――』

と、こゝで、大老堀田備中守、老中大久保加賀守、阿部豊後守、戸田山城守にお集りを願ひ、あらためて、奉行丹波遠江守から、坊主小兵衛取調の仕末を披露いたします。

それをきいて、一同の驚きは、また一入。

『如何とりはからつてよろしいものであらうか――』

と、一同、たゞく、顔を見合て、ため息をつくばかり。

やゝあつて、口をひらきましたのが、大老堀田備中守。

『これはまことに容易ならぬこと。上樣のお耳にもいれ、きつと、お手入れ、御吟味もあるべきぢやが、御親藩に居らせられる尾張侯の恥を、外にさらすは、ほかへのきこえも如何。――依つてこの度のことは内聞といたし尾張侯の附家老成瀬隼人正まで、申し渡し、厳重に取はからふやうにいたすが上分別と存ずるが、諸公は、如何お考へ召さるな、――』

きいて、一同に異論はありません。

『それが、よろしいかと存じまする』

と、聲をそろへて、同意する。

『しからば、但馬殿――』

『はッ！』

『明日にも、貴殿より、成瀬隼人正へ、しかるべくとりはからふやう申し渡されたい――』

『畏まつてござる――』

扨、遠江守に尋ね……、其のお取り調の小兵衛と申すは如何様の罪を、犯したものでござるな――』

『左様にござりまする。――かの小兵衛と申しまするは、島破りの大罪の他に、人殺し、強盗の罪を犯し居るものに、ございまする――』

『さようか。しからば、死罪で――』

『御意にございまする。――磔刑、さらし首にもいたすべき大罪人にございまする――』

『さようか。……その者は、それでよしとして、何とやら申したなう。――尾張家出入の呉服商人は……？』

『伊豆屋與兵衛にございまする――』

『うむ。――その伊豆屋與兵衛並に、不義をはたらきし、歌舞伎役者については、尾張家内部の者の處分つき次第、両三日中に、身どもより申し傳へる故、それまで放任いたし置くやう……』

『はッ！』

奉行遠江守は、謹んで、お受けいたしました。

○…… ○…… ○……

火曜 五月二十九日 庚子 四緑 支引 廿七日 危 九日 翼宿

●一白の人 一喜一憂を免れず業務吉なれば病に侵さる 申と辛と丑が吉
●二黒の人 逸る心を壓えて他事を企てず定業を守り吉 壬と子と癸が吉
●三碧の人 心の動揺を靜め人言に誘はれぬ用心が第一 甲と乙と申が吉
●四緑の人 既得の業務に専念して他事を企てぬが安全 乙と申と卒が吉
●五黄の人 氣運次第に逆轉する 起用開店普請皆な凶 丙と庚と壬が吉
●六白の人 千慮に一失ある日進まんより退くが極安全 丁と丑と寅が吉
●七赤の人 勝誇りて伏兵に惨敗する如し勢に乗るは凶 甲と申と丑が吉
●八白の人 華々しきは凶諸事地味に取り計らふが安全 庚と癸と寅が吉
●九紫の人 根氣を以て幸運に乗すべき日熱心の功あり 己と丙と亥が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪）行

×印二三等船客設備船 ▲印 廣島寄港 （午前十時大連出帆）

船名	日
うすりい丸	五月卅一日
ばいかる丸	六月 一日
×志あとる丸	六月 三日
扶桑丸	六月 四日
はるびん丸	六月 五日
亞米利加丸	六月 六日
うらる丸	六月 八日

切符發賣所

満鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案内所

船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間三ケ月）

大連、門司、神戸間乗船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ケ月）

專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社

大連支店電話四一三七番

奉天出張所電話四〇八九番

新京出張所電話二二一六番

大正十四年二月十九日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊
五月廿九日（火）

發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二一五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 谷啓二郎

きのふ天覽試合

劍々相磨す壯觀！
龍虎相搏つ秘術展開
選士の眉宇に精悍の氣漲る
皇帝殊の外御感銘

慶祝大典全國武道大會の第二日天覽試合は二十八日午前十時四十分から宮廷府勤民樓中庭で擧行された、この榮ある御前試合に出場の日本柔劍道選手二十二名は何れも緊張の色を面にたゞよはせながら午前九時四十分宮廷府に入る、豫定の時刻より少し遲れて十時三十分劍道選手二十名が入場、續いてこの日陪觀の光榮に浴した菱刈大使、西尾參謀長、鄭國務總理以下各部大臣、張參議府議長以下各參議その他日滿要人四十余名が入場して待つほどもなく陛下には臨御、一同の起立最敬禮裡に設けの玉座に御着席あそばさる、玉座は北面して設けられ、その兩側には日滿兩國旗を交叉し道場にあてられた中庭の周圍は五色の幕に張り廻はされて晴の試合にふさはしい情景、選手一同は御前に最敬禮して玉座の左右に居並ぶ

試合經過

次いで大日本帝國劍道型が篠原教士と波多野教士によつて長谷川英信流居合型を竹村六段によつて行はれこれが終るや、いよいよ劍道の紅白試合に移り兩選手劍々相磨すの技をつくしたが左記成績、六對三で紅軍大勝次いで月牙槍、四人對打などの滿洲武術が行はれて正後休憩に入つたが　陛下には日本古有の武術にいたく感動あそばされ、時に微笑ませられながらも終始熱心に御覽あらせられて御退場、零時十分　陛下には再び臨御玉座に着かせられるや、小谷六段と神田六段が講道館投の型を御覽にいれ、零時三十分柔道の紅白試合に入る、紅軍高橋初段、白軍池尻初段先陣をうけたまはつて戰端を開き二十二名の撰りぬかれた選手必死の技を用ひ龍虎相搏つの眞にせまる試合を演じて陪觀者一同に汗を握ぎらせたが、紅軍利あらず四對一で白軍捷を制し午後一時十分意義深い天覽試合を終了、　陛下には殊の外御氣嫌麗はしく一同起立最敬禮裡に入御あらせられた試合終了後　陛下には選手の勞を犒はせられる思召から一同に茶菓の饗應を賜はり一同恐懼して退廷した

劍道

紅軍　　白軍
一級林　〇〇—××二段多田
二段船津〇〇—××同　古賀
同　中島〇×—〇〇同　植山
同　近藤〇×—〇〇三段河合
三段川島〇〇—××同　天坂
同　中村〇〇—××同　荒川
同　外村〇〇—××同　古川
同　坂本××—〇〇同　大浦
四段高木　〇—×四段　宮澤
五段山口　引分〇　同　林

△大浦三段の勝で白軍稍々愁眉を開き宮澤副將兩刀をもつて高木副將にせまつたが引分豫告の合圖が入つたため宮澤副將少しあせつた形がみへ高木の電光石花打ちこんだ竹刀にきれいな面をとられて負けとなる
△林白軍大將最初より攻勢に出て立ち上るや直ちに面一本をとつたが小手をかへされて遂ひに引分けとなる

柔道

紅軍　　白軍
初段高橋押込み×初段池尻
三段井口　引分　三段　小野
同　渡巳　病分　同　眞下
同　藤田×跳巻込同　奥野
四段　湯淺　押込み四段山崎
同　秦×　逆　同　花田
同　金山　引分　同　佐藤
同　眞野×押込み同　東
五段田中　引分　五段　松澤
同　石川　引分　同　星
同　伊藤　引分　同　吉原

天覽試合に於ける小谷神田兩六段の試合

重態の報に
涙ぐましい情景展開
國を擧げて元帥の平癒を祈る

【東京國通】思出の海軍記念日に東郷元帥の病勢悪化すとの報一度傳はるや全國民は其容態を憂慮、畏くも　天皇陛下には直ちに病床お見舞ひとして果物一籠を御下賜あらせられ各方面から見舞電報は引きも切らず齋藤首相、一木樞府議長、湯淺宮相、瓜生大將閑院宮御使等續々と馳せつけ邸内外は異常な緊張を加へて行つた、門前には早くも容態を氣遣ふ人々か垣を作り消ゆく人も足を忍ばせて綠深き邸内に臥する老元帥に平癒を默禱、日蓮の女行者も團扇太鼓の鳴りをしづめて祈願、明治神宮其他でも夜を徹して國寶東郷元帥の快癒を祈つて憂ひの一夜を明かす、病室では六年前より神經痛を病んでゐるテツ子夫人は自分の苦痛を忘れて嗣子彪氏や百合子夫人等と枕頭に付切りで主治醫と共に警戒に努め並居る者も感に打たれる

容態小康を得
鈴木侍從長に面會

【東京國通】東郷元帥廿八日の容態は前日よりずつと良くなつて小康を保ち意識も明瞭で絕對安靜にし衰弱は激しいが、大分元氣が回復して來た病室には加藤主治醫と看護婦の唯二人だけが居り病氣を診察したのみで家人も遠慮して顏を出さず、主治醫も診察以外には口をきかない樣にして居る、午前十一時五十分鈴木侍從長が個人の資格で見舞に來たのに對して元帥は「今日は特に氣分が良いから會ふ」と言つて會見をなしたが非常に滿足そうであつたと云ふ、右鈴木侍從長はこの日元帥が會つた最初の見舞客である

三五、六年迄は
生きてもらひ度い
＝大角海相語る＝

【東京國通】東郷元帥の病床を見舞つた大角海相は左の如く語つた
廿四日にお會ひした時は衰弱はしてゐたが意識は明瞭で十分間位記念日のことや部内の模樣を報告した、元帥も種々お話しあり長話しせずお別れしたが急變は遺憾である、國寶的の元帥には一九三五、六年の國際危機切拔けまでは生きて居てもらひ、明確な裁斷を受けて國の針路を決定し度い、此の力强い元帥の存在をどうかして長からしめ度い

新京輸入組合
四月分成績

一、貸付及回收　本月中貸付額一二〇件、金十一萬八千二百八十圓也
回收額一二一件　金十二萬一千九百六十五圓七十錢
本月末殘高金二十四萬九千五百五十六圓也
二、仕入先
1、現地　金四萬八千六百圓也
2、內地　金五萬六千百五十圓也
3、大連　金一萬三千五百三十圓也
4、合計　金十一萬八千二百八十圓也
三、組合員　滿洲銀行及正隆銀行扱新加入者二名四月末現在組合員
一二七名普通出資口數三、三二六口、特別出資口數一〇四五口
合計　四、三七一口
四、出資拂込額　四月末現在
普通出資拂込額金十六萬六千二百圓也
特別出資拂込額金四萬八千七百九十七圓十二錢
五、購買傳票　本月中取扱高金一萬九千參百六圓五十四錢
取扱店數一〇〇　使用個所六十八ヶ所使用人員九九六名
六、商品券取扱高　本月中取扱高金百七十八圓也

伯國移民法改正は
日本人不同化集團性
外務當局否定釋明を爲さん

【東京國通】ブラジルの移民法改正は日本移民の集團性、不同化性が原因だと云ふが外務當局はブラジルの輿論に訴へても不同化移民に非ざる旨を說得し、又誤解なき樣移民政策の眞意闡明に努める筈である

きのふ第十三次
國務院會議

昨日の第十三次國務院會議に提出された議題は次の如くである
一、勳章並に勳位に關する件
制定以前に死亡せるものにして國家に對し勳績拔群功勞顯著なりし者をも同樣に表彰する爲めに勳章追賜に關する件
二、建國後制定せられたる陸軍官制佐、士、兵等級は實施の結果不都合の點少らざる爲め改正するの件
三、伊通河支流小河台河に貯水池を設け國都に給水する爲め大同二年度國都建設局特別會計追加の件

舊紙幣引換延期は
通用期間の
延長でない
中銀當局者は語る

來る六月末日を以て通用期間の滿了する舊官銀號及び邊業銀行發行の紙幣に對し今度設けられた引換へ期間はさきに財政部布告第六號で發布された通り康德元年七月一日より康德二年六月三十日迄一ヶ年と定められたが之に關し中銀當局は左の如く語つてゐる
舊紙幣即ち舊官銀號及邊業銀行發行紙幣は舊貨幣整理辦法に基いて來る六月三十日限り通貨たる効力を失ふ事になつてをり本行は今日迄に既にその九割の引換へを終り期限迄には大部分を回收する事が出來る見込みであるが今回舊紙幣所持者の利益を保護する意味にて康德一年五月廿日附財政部布告に示さるる通り更に本年七月一日から來年六月三十日迄の一ヶ年間引換期限を設け本行に於て國幣との引換に應ずる事になつたのである、然るに中には之れを通用期間の延長の如く考へてゐる人もある樣に聽くが之は大きな誤りで舊紙幣が本年六月末を限り通貨としての効力を失ふ事には何等變りなく決して通用期間が延長せられるのではない從つて七月以降は一般に通貨として受授する事を禁ぜられてゐるのだから此の點與々も誤解のなき樣されたいと

大同學院第三期學生
農村實體調査
七月一日から全滿各縣に配屬

去る五月入學の大同學院第三期學生九十八名は習學中の最大眼目たる縣政實習を愈々七月一日より一ヶ月に亘り實施することになつた、即ち前記九十八名を一班四五名に分ち約二十班は夫々全滿各縣に配屬、實地研究を受ける筈で、今回學生に與へられた研究題目は目下政府當局の頭痛の種となつてゐる農村實體の調査研究である、尙配屬された學生は當該縣參事官の指導を受けるが特に資料蒐集其他數學的研究には統計處が指導することになつて居り、研究の成果は全部的に纏められた上當局に提供される筈で農村政策遂行上有力な參考資料となるべく右の企ては關係方面より多大の興味を惹いてゐる

周作霖中將
長逝

【チチハル國通】滿洲國建國或は馬占山討伐に武勳を樹てた江省軍騎兵三旅長（黑河）周作霖中將は、盲腸炎で北安鎭陸軍衞戍病院で加療中であつたが廿六日危篤狀態となり

秩父宮殿下
賢所御參拜御渡滿を御報告

【東京國通】慶祝使節秩父宮殿下には廿八日午前十一時宮中に參內賢所に御參拜、六月二日東京御出發御渡滿の旨を御報告遊ばされたが、一方林式部長官以下十四名の隨員はこれに先立ち宮中に參內鳳凰間に於いて　天皇陛下に拜謁を仰付けられた、尙午後六時半から宮中に於いて秩父宮御送別の御內宴が催され　兩陛下出御、御名代宮たる秩父宮殿下並ひに同妃兩殿下の外高松宮同妃兩殿下にも御臨席遊ばされると洩れ承る

秩父宮御上陸當日の
奉拜者整理と
警戒を協議

【大連國通】秩父御名代宮殿下の御來滿も愈々あと旬日に迫り全滿は擧げて御歡迎準備に忙殺されてゐるが、大連埠頭では廿八日午後一時より埠頭ビル會議室に於て滿鐵埠頭事務局、水上署、陸軍運輸部出張所、要塞出張所、商船、滿電、其他埠頭關係機關代表者及ひ關東廳關係官會合し埠頭御歡迎者及ひ御上陸當日の奉拜者取締並に御警衞に就き協議することゝなつた

渡邊章男薨去

【廣島國通】當市上流川町二十八に閑居の「蛤御門の戰」の生存者從二位勳二等功二級男爵陸軍中將渡邊章翁は二十七日午前六時肺炎で薨去した享年八十四歲

廿七日午後零時廿分手當の効なく遂に逝去した
之より先危篤の報天聽に達するや滿洲國皇帝陛下には同將軍の多年の功績を思召され、特に御見舞ひとして葡萄酒を下賜された

企劃局實現確實か
實勢の調査（下）
科學研究所も有望

が先づ其の設立に當つては國內の現狀に鑑み最も緊急適切なる農林畜產等の方面より手を染め既定計畫の三ヶ年を以て全分野の完成を企劃して居り更に滿洲國統計處要求の國家實勢調査は實業部の臨時產業調査局と共に凡ゆる產業開發の基礎となるべき調査資料の蒐集を目的とし當局として最も其の必要性については重々注目を拂つてゐる所であるが右二項はその目的內容に於て重複するところがあり結局檢討の上統一實現されるものと觀られる、たゞ特に注目すべきは右悉くが有機的關連と必要性を有する點に於て、從つてその運命は最後まで共にすべきものと觀られてゐるが右各案は既に夫々原案の作成と豫算の編成を了へて主計處に提出され、同處に於ては之が査定中であるが、右は六月中旬頃には成否の決定を見る筈で目下の情勢に於てはまづまづ實現確實と觀られてゐる

複雜な法制は不可
臨機に制定
新大達法制局長談

【大連國通】福井縣知事から滿洲國入りをして法制局長に就任する大達茂雄氏は家族を東京に殘し、單身廿七日午後四時入港の「たこま丸」で着連、廿八日午前九時發「ハト」で赴京する筈であるが船中語る
滿洲には二度來た事があるが殆んど認識はない從つて新職についての抱負も具体的なものは持合せてゐない抽象的には例へば最初から複雜な法制を作り上げるといふ樣な事はいけないと思つてゐる、必要に應じて又適時法制の制定を爲すべきであらう幸ひ新職に對しては大いに興味と鬪心を持つてゐるから折角の招聘に酬ふ樣大いに勉强する

大達法制局長
正式に發令

前福井縣知事大達繁雄氏の滿洲國法制局長就任は二十八日正式に決定簡任一等に敍せられた

拓務の滿洲
移民計畫樹立さる
ブラジル移民法改正對策とし

【東京國通】拓務省ではブラジルの我移民制限に對し外務省と協力してブラジル政府の＝反省＝を促すべく對策を考究中であるが、他方拓務省では之が善後策として目下考究中の滿洲各種產業移民政策に主力を集中することを以て最も有望視し次の如き根本方針の下に陸軍大藏兩省を始め關東軍、關東廳並に滿鐵等と具体的折衝の上來年度以降に於て之が實現を期せんとする模樣である
即ち去る昭和七年度より試驗的に實施せる滿洲自衞農業移民計畫を（每年五百名宛）本年度限り打切り、來年度以降に於て廿ヶ年五十萬人、十ヶ年廿萬人、五ヶ年十萬人、一ヶ年三萬人等の各種產業移民計畫案を樹立し從來の農業移民の範圍を更に
＝擴大＝して農業、商業、工業、鑛業等一般產業移民として本格的に集團移住せしめ、日滿兩國產業開發及ひ兩國民共同の福利增進を期し、之が爲には日滿合併の移民の土地會社及ひ移住協會等直接間接に必要なる機關をも施設せんとするものである

協和會依蘭
籌備委員會設置

協和會では曩に依蘭地方の重要性に鑑み地方事務局を設置し局員を派遣し鋭意思想工作に邁進してゐるが、その第一步として協和會依蘭縣分會設立の爲縣公署、商務會、農會教育學校其他各機關の代表者を以て籌備委員會を設けて分會結成準備中である、尙富錦、佳木斯にも分會の設置準備中であるが同地方の協和會の設置は地方民心の安定、思想對策上極めて有效なりと各方面より注視されてゐる

讀者の聲

◆投稿歡迎◆
中傷はとらず
紙上匿名は可なるも一應住所氏名を御知らせを乞ふ

体協よ、しつかりやれ
新京通人

此頃大問題となつてゐる赤帽問題について我輩は最も公平なる態度を以て批判したいと思つてこゝに貴重なる紙面を拜借するものだ我輩は新聞紙上傳へられる個人に對して何ら同情を表する根據を有せぬ何となれば我輩は一通濟公司の何某をいふに非ず如何なる場合にも寄附一つせず利權ばかりあさつて社會に害毒を殘す輩が新京に少くないからである吾々は余りによくその內面を日頃よく見せつけられるからである、体育協會が勇敢にもこれらを相手に戰ふことは實に我輩のやうに、眞面目に働いてる者に取つては痛快だ、但し途中で暗中策動に乘つてへこたれるやうなことをすれば体協は自滅するよりほかないといふことを警告して置く

眞相をあばけ
黑帽生

赤帽問題で鐵道事務所內に現經營者側の策謀に乘る輩があると聞くがほんとですか、この際公正なる貴社の活動によつてその眞相を明かにし、序でに新京驛頭をめぐる臭氣ふんぷんたる利權芝居の內幕をぜひ徹底的に暴露して下さい

聊か不公平
徹底主義者

僕は谷口の知合でも何でもないが、たゞ谷口ばかり相手にするのもどうかと思ふ、谷口君と同じやうな仕事をしてゐて、ボロ儲けをしてゐる連中がまだ二つ三つある、それらにも同樣、徹底的に當るべしだ、僕は谷口には同情するわけでは決してないが聊か、不公平のやうにも思ふ体協幹部に一考を促す次第である

偶語

風雲急を告げた体聯對通濟公司の赤帽問題も、どうにか一縷の曙光を見出したやうである
▼最初からかう來るべき筋合が、通濟公司側の不誠意なる態度によつて、端しなくも問題が惡化したまでだと見て宜しからう▼たゞ通濟公司が果して約束の金千二百圓をきれいさつぱり前金で寄附するか否かは殘された問題と聞くが、きのふ最後の會見は果してどうなつたか、本稿の締切りまでには遂に間に合はなかつた▼体聯が切角大乘的の精神から、お話にならない少額でも事をすませやうといふのに、先方が相も變らぬ不誠意極まる態度であればその時こそ容赦なく最後の巨彈を放つべきだ▼そうすれば問題はいよいよ發展性があり遂には拔きさしならぬ結果を招來するであらうことを、世の識者とゝもに憂ふるところである▼自動車運轉手と監督とが一寸した口論がもとで運轉手が監督を打つたところ、打ちどころが惡くて遂に絕命した、哀れにも淒ましき街頭悲劇である▼最初から殺害の意志があつたわけでなくば、單なる過失といへば過失であるが、この種事件は今後も無いとは限らない▼酒の席上などでは殊によくある事であるお互にかゝる一時の興奮に委せて、兎かくの爭ひは愼みい、殊に酒亂者や世の亂暴者に取つては最もよい戒めである

團休

▲錦城公立高等普通學生五十五名二十八日午後十時發南行
▲德島敎育會團十名二十八日午前八時三十分發哈市へ二十九日午後三時二十五分歸京同日午後四時三十分發南行
▲忠淸南道警官視察團二十三名二十九日午前六時來京三十日午前八時三十分發哈市へ
▲東京豐島師範學生五十四名二十九日午後四時來京扶桑旅館投宿三十一日午前六時二十分發南行

秩父宮殿下　新京神社に御成りの際當地在住者中七十歲以上の邦人は同社境內に於て御奉迎方許可ありたるに就ては該當者は六月一日迄に地方事務所地方係まで御申出相成り指示を受けられ度し
五月二十九日
新京總領事館
新京地方事務所

天氣と氣溫
天氣　南の風薄曇
氣溫　最高二十四度六　最低九度八
日出　前四時〇一分
日入　後七時十一分
月出　後八時〇八分
月入　前三時三十五分
滿潮　前
干潮　後

社告

忠靈塔建設費募集締切期日は五月末日となつて居りましたが內地方面で六月末日迄延期しましたから弊社の受託も同樣に延期致します
新京日日新聞社

憂鬱・ストップ信號

夏宵は惱ましい□□□

なげきの花街

これは危險々々、けふ此頃 藝酌婦の入院續出

藝酌婦の入院、通院が本月に入つてから非常に激增し、每週定期で行はれる木、金兩日の檢査にストップの信號をかゝげられ入院、通院の宣告を言渡されるものが十五名を下らず、新京醫院第三病棟は大入滿員で婦人科醫師は多忙をきはめてゐるが、これとともに市內の藝酌婦は將に花柳病蔓延で大恐慌をきたしてゐる二十六日現在の三業組合並に新京第一料理店組合の花柳病患者は七十名內入院二十名通院五十名で、內藝妓通院三十名、酌婦二十名、入院藝妓七名、酌婦十三名である、なほ城內新京料理店組合の藝酌婦の入院患者は十五名、通院二十名である

看護兵四十二名 きのふ凱旋

骨をも刺す極寒と闘ひ、あるひは灼熱を征服しながら瘴れし戰友の介抱に二ケ年間北滿の野に轉戰した第〇〇隊看護兵四十二名は芽出度く凱旋の途につき二十八日午後三時二十五分着列車で遠藤看護長に引率され新京に着いた、驛頭では戰友、市內有志、小中學生徒兒童が小旗を歡聲とゝもにふり擧げれば、國旗を持つた凱旋兵はこれに應へる驛頭は凱旋氣分に醉ふ、かくて一行は一旦新京に休憩の上同日午後十時發列車で大連へ向つて出發した

か弱き女に幸運

朝鮮慶尙南道晋洲郡谷面仁電里、姜三世（二六）は本年二月同里金仁德（一八）を前貸二百五十圓でかゝへ、新京に連れ來たり富士町三丁目滿鮮閣に頂け無許可で營業さしてゐるを二十七日新京署員が發見し取調べの結果、女の前借を棒引にし鄕里に歸すことになつた

懷しの室町校に最後の別れ

范家屯兒童廿四名 昨日正式引渡しを終る

既報、室町小學校范家屯分敎場では二十八日から五、六年複式學級增設されたので、同日は范家屯から地方事務所派出所主任岡田倉吉、同校首席訓導那須純一郎、父兄會々長橋本幾三郎の三氏が室町小學校へ五年生男兒五名、女兒七名六年生男兒七名、女兒五名合計廿四名の兒童の引取りに來京、これよりさき室町小學校では同日午前九時十五分から同校々庭に五六年全兒童を集め上原校長から送別の式辭を述べ在學生及び范家屯行生徒の代表それぞれ一名が出て挨拶を述べ送別式を擧げた一行廿四名の兒童は前記三氏に連れられ午前十一時卅分發列車で出發、學友も驛頭まで見送りに出た、なほ上原校長も范家屯まで附添ひ送り屆けた

中銀支行の盜難事件判明

犯人は情報處の給仕

中銀南廣場支行で消えて無くなつた千四百余圓の行方について新京署で嚴探中であつたが、廿八日午前に至り、使ひに行つた情報處給仕小西光文（假名）（一九）が、隱匿してゐた事が判明した、「頭が變だ」の一點張りで廿六日警察を無事に出た小西は、廿七日の日曜露月町の自宅で、手の切れる樣な十圓札の觸感を樂しんで居るところを、ふと見た同人父某ホテルのコック長藏之助氏はハッと顏色を變へ、終夜不肖の我子を懇々といさめて廿八日午前一錢も使つてゐない千圓束をもつて同人同道新京署に自首して出た取調べの結果偶然に間違へた桁で中銀から受取つた千圓束にフラフラとして隱匿したものと觀られ、發作的の犯行との觀測が強いが、尙共犯關係の有無其他に就て取調べを行つて居る

手落はすまぬ 支行では語る

右に就き支行では語る

二十五日銀行の營業を終つてから計算をしますと一千四百三十六圓四十錢の不足を生じてゐるので行員は徹宵で帳簿を引合した結果、同日午後二時ごろ前記小林さんが百五十九圓六十兌換に來ました、そのとき係員が桁を間違へ一千五百九十六圓を手渡したことが判り二十六日新京署に屆出搜査を依賴しました二十八日警察から右金額が全部歸つたとの電話で行員は安心しましたがこうした迷惑をかけたことは行員の手落で申譯がありません

幹線道路の美裝工事進む

御名代宮殿下御來新も旬日に迫り附屬地を始め幹線道路の美裝工事は日夜工を急いでゐる、寫眞は、上、大同大街の工事　下、中央通り西公園前の工事

誠に圖々しいルンペン男に

警察も口あんぐり

滿洲景氣を夢みて滿洲國の首都新京を目指してルンペンが續々押寄せ就職口を搜すが、右から左へと簡單に就職されず、所持金はその內に消費し食ふに困り救濟方を新京署保安係に願出る者が多く、同係では充分說諭の末旅費を惠み歸國せしめてゐるが、最近では實に圖々しいルンペンが多く係員を驚かしてゐる、廿六日午後四時三十分ごろ朝鮮人李京先（一八）が訪れ、三日間食はず飮まずで苦しんでゐるから惠んで下さいと願出た同係で說諭の末歸國旅費を手渡したところこの男は二十七日朝再び同署を訪れ救濟方を申出たので係員が前日手渡した金の消費方を詰問すると實は旅費にする考へでしたが、洋服店の前を通つてゐると遂に洋服が着たくなり洋服代にしましたと平氣な咨へに係員も次の言葉が出ず、嚴重說諭した

初家堡村に日語學校

最近、全滿各地に亙つて日本語研究が盛んに行はれて來たことは日滿親善の上から喜ばれてゐるが、本溪縣第八區初家堡村日本警察派出所勤務佐藤巡査は本溪湖協和會辦事處と協力して、同地小學校內に日語學校を設立、去る二十五日生徒九十名を得て華々しく開校式を擧行した

四平街 高齡者を招待 婦人會の奉祝

皇太子殿下御降誕の御慶をトし四平街婦人會にては過般來其が奉祝具體案に就き協議中の處我國家族制度の粹美鶴壽の敬老祝賀と決定し來る廿九日午前十一時より滿鐵俱樂部ホールに於て七十歲以上の地方高齡者を招待し仕舞劍舞新舊錦踊等其他餘興等上演其鶴壽を祝する由にて現在判明せる該當者は左記廿五名尙當該洩の方は至急地方事務所社會係或は婦人會杉山、桑尾婦人迄申込れたいと

周永福（七〇）周氏（七〇）謝氏（七二）王德魏（七二）楊氏（七七）金氏（七五）朴氏（七四）王氏（七一）馬良富（七五）山添倚江（七二）上杉德平（七六）菊地スイ（七二）小川勝三郎（七二）森スミ（八三）阿南ムメ（七五）松本久太郎（七六）林サダ（七二）三ヶ島某（七二）森山モク（七五）伊藤キク（七二）林ち江（七三）伊藤壽美（七三）猪苗代某（七二）森田ヨリ（七五）前田外光（八〇）

岡村副長の檢閲

關東軍岡村參謀副長は當地大隊並に憲兵隊檢閲の爲廿六日午後五時四十分「ハト」にて四平街多數官民出迎裡に着四直に植半旅館に滯在の上翌朝檢閲を了へ午後一時廿五分發列車にて新京へ向ふ

建國記念大運動會

滿洲國体育協會主催建國記念第三回四平街大運動會の打合會は廿五日午後一時から地方事務所會議室に於て開催され曲梨樹縣長澤井參事官山本小學校長愛甲庶務係長趙商務會長、滿洲國官史小學校公學校普通學校敎員三十餘名出席の上豫算、競技方法、役員選定等に就き熟議を遂げ同三時半解散したが大會は來る六月三日、（日曜）午前九時より公園西グランドに於て擧行する事に決定し參加人員は各小學校生徒約四千人因に本年は帝制實施の祝典を迎へた事とて例年になく大會も盛大ならんと一般より多大の興味を以て期待されてゐる

すわらじ劇園上演

京都一燈園主西田天香氏の組織するすわらじ劇園一座は目下沿線各地に上演中だが愈々來る卅日來四

四平街修養團支部並に白百合會主催滿鐵社員會係社員會修養部四平街婦人會各新聞支局後援で卅日卅一日兩日四平街劇場に於て熱演する事になつた

觀劇料は大人一圓三十錢前賣券一圓軍人學生は金五十錢

スズランの面目新

四平街カフエー界の草分として開業以來營業を續けて居るスズランは此程純東洋式モダンな家屋に改築し美給百二〇パーセントのサービスと共に面目を一新しお目見えする事になつた

郵便統制に乘り出す準備

愈近く日滿會議か

既報、現在滿洲國內の郵便事務は錯綜を極め非常に不便を感じて居り、これが改善の聲はつとに擧つてゐたがこれが調整のため遞信省奧村喜和男氏は關東軍囑託となつて種々調査研究の結果、愈よ日滿郵便統制に乘り出すこととなり準備を進めてゐる現在の滿洲國內及附屬地內に於ける郵便取扱は大正十一年の日支郵便現狀維持協定によつて束縛されてゐるため、日滿郵便新協定締結が急務とされてゐるがこの程準備も成つたので日滿郵便會議開催の運ひに到るものと觀られて居り二、三ヶ月中には日滿郵便條約が協定されるものと想像される、なほ新京では附屬地內に滿洲國ポスト九、城內に日本ポスト五あり、集配事務複雜して不便を感じてゐる

滿洲電氣協會 役員會と總會

社團法人滿洲電氣協會では來る三十日新京ヤマトホテルで午後一時から理事會、同二時から評議員會、同三時から第六回定時總會、同四時半から滿江五月氏の國都建設に就てと題する講演、同七時から懇親會を催し席上滿鐵弘報係撮影の「護れ王道」外數卷の映畫上映、三十一日は午前十時から寬城子遞信所、市內建設狀況南嶺戰跡を見學する

旅行記念スタンプ 全部取替へ

滿鐵各驛に常備してある旅行記念スタンプは大多數が既に磨滅して不明瞭となつたので今度各驛とも取替へることになつた、なほ意匠も變更したもので、大体六月中旬までに配布されると

父戀し！

自分と母を捨てた實父を搜す

世間の噂を便りに遙々來京した哀れな青年

二十八日市內日本橋通警察官派出所を訪れた一青年がお手數を煩はし恐縮ですがと行衞不明の父の搜査を願出た、その語るところによるとこの青年は神戶市中區將軍通り三ノ三〇九余澤知信方伴幸二郎（二五）と云ひ、十二年前大阪に居住してゐた時、母と自分を殘し情婦と出奔行衞を晦まし、母はそれを苦に病んで死に、幼少な自分は伯父に引取られ養育を受け成長、今は川崎造船所に働いてゐるが父戀しの念一日も去らず噂に聞くと父は新京にゐるとの事、矢も楯もたまらず休暇をとつて來は來たが、なかなか自分一人の力では搜し出せないことがわかりました、此上は警察のお力でと嘆願に及んだもの本人は日本橋通萬屋旅館に泊つてゐるからもし神戶生れ伴虎吉といふ五十四歲になる老人の所在を知つてゐるものは萬屋旅館か日本橋通派出所まで知らして欲しいと詰合ひの警官も大に同情してゐた

小學生に柔道を普及

【東京國通】日本の國際的非常時を克服するには日本精神の振興にあるとして柔道有段者會は全國小學生に柔道を普及せしめることになつた

手小荷物激增に對策

最近新京管內手小荷物激增のため新京着のみでも一日平均二千三四百個に達し、それに伴ふ小荷物の事故の漸增に鑑み新京鐵道事務所では之れが對策として小荷物車の增結並に奉天に中繼小荷物倉庫設置等が考慮されて居ると

けふ死体の解剖 運轉手毆打事件

夕刊所報、國務院自動車運轉手監督練石是（四一）を死にいたらしめた同院自動車運轉手山川大（三一）に就き總領事館署で嚴重取調を進めてゐる一方被害者練石氏の死体は二十九日花輪司法領事豬股檢事々務取扱の立會で解剖に付することになつた

御召列車運轉の光榮に浴して

新京機關區 眞鍋氏の謹話

御名代秩父宮殿下御來京、御離京の際にお召列車を新京、鐵嶺間運轉する無上の光榮に浴した機關士新京機關區（住所新京平安町三丁目滿鐵社宅第四號）の眞鍋菊藏（三九）氏を二十八日午前八時四十分新京驛第一ホームに停車待機中の午前九時發鳩の機關車に訪れ來意を告げると、顎紐をかけた色黑の同氏は機關車から飛び下り、はづれかゝつた胸ぼたんを正して謹んで次のやうに語つた

申上げるも畏き極みでございます唯々恐懼措くところを知りません、いまゝでにも宮殿下のお召列車を運轉したことはありましたが御名代宮殿下の御召列車は今度が始めてゞあります、斯樣な事はおそらく再びとはない事でせう、この上はベストを盡して萬一の事がないやうに、健康にも十二分に氣をつけて攝生をして、ゐます、どうかしてこの無上重大な責任を無事、誤ちのないやうにと日夜願かけてお祈りして、私にとつては無上の光榮を子々孫々まで傳へたいと思つてゐます

なほ同氏の原籍は福岡縣門司生れ、滿鐵入社以來二十四ヶ年である（寫眞は眞鍋氏）

井上五段來京

わが園碁界の長老 ぜひ手合はせしたいと きのふ記者に語る

わが園碁界の元老として知られ、篠原五段、小杉四段などの師匠に當る五段井上孝平氏はこのほど來京し、目下大和通向陽ホテルに滯在中だが氏は菱刈司令官、遠藤總務長官、星野財政部總務司長らを訪問、また在京の愛碁家とも手合せすることになつてゐるが滯京一週間ばかりの豫定である、氏は語る

新京には宮庭府に中島三段があり、ぜひ手合せしたいと思つたが折惡しく大連に行つて不在中である、近頃は新來者も多く、從つて隱れたるお強い方もおゐでのことゝ思ふが、この機會に出來るだけお目見えしたいものと思つてゐる

晝間の强盜

天晴れ警官の殊勳 昨日城內で映畫もどきの活劇

二十八日午後三時三十分ごろ大經路署管內熱鬧街二六石炭商振遠達方へ主人家族その他不在でボーイ李連福（四九）が留守中、一名の賊入り込みボーイを毆りつけてよろめく隙に帳場の在り金全部をかつさらへ逃走したが大經路署の門官楊朝順氏、交通警士宋殿起氏および折柄所用から歸りがけの司法部警士孟憲氏も加勢し三人で追ひかけ白晝活劇寫眞そのまゝの活劇を演じ遂に逮捕し直ちに嚴重取調べを開始したが共犯もあるもやうで、首都警察廳では三警官の機敏神速なる行動に金一封を賞與し、修總監からも表彰されるはずである

第二次競馬 けふから續く

新京賽馬俱樂部春季第二次競馬は二十六日の豪雨のため馬場は勿論途中の泥濘甚しきため二十七八の兩日を休み、二十九日からこれを繼續擧行するに決したと

學校通信

室町校評議員會 けふ開く

室町小學校では二十九日午後四時から父兄會評議員會開催昭和九年度役員決定、豫算の審議その他協議をなすと

銀行團リーグ戰 正金快勝

第五日目鮮銀對正金戰は二十七日午後三時二十分より公學校に於て鮮銀先攻にて開始審判梅津、清水、阿部、戰績及ラインアップ左の如し

	一	二	三	四	五	六	七	
鮮銀	2	1	0	0	0	0	2	5
正金	2	0	3	0	2	3	A	10A

本壘打 太田、岩堀

輝やく凱旋兵 新京驛發着時刻

第〇〇隊內地凱旋兵〇〇〇名が左記日時に新京驛發着通過する、市民は擧つて歡迎送しませう

▲二十九日午後七時三十分着列車で〇〇から〇〇〇名同日午後十時發南行▲二十九日午前十一時三十分發列車で新京衞戍病院除隊兵〇〇名南行

西田天香氏 今夜高女で講演

昭和の聖者京都一燈園々主西田天香氏は二十九日午後七時三十分から新京高等女學校講堂で、「無一物中無盡藏」の演題で講演をなす、主催は新京滿鐵社員クラブ、光の友會社員クラブ事業部である

立教快勝

【東京國通】六大學リーグ、早大對立敎戰は廿七日午後二時から神宮球場で立敎先攻で開始され結局十二對四で立敎快勝した、閉戰四時二十分、スコアー左の如し

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
立敎	0	0	1	3	0	3	0	1	4	12
早大	1	0	0	0	0	0	1	0	2	4

居住消息

▲後藤七郞氏 花園町二丁目三番地から和泉町二丁目二十二番地へ▲花滿佐太郎氏 住吉町二丁目六番地から曙町二丁目二十二番地ノ四へ▲小川藤松氏 露月町二丁目二十九番地ノ五から羽衣町二丁目六番地ノ四へ▲佐竹榮氏 常盤町二丁目七番地から羽衣町二丁目號へ▲中西政吉氏 錦町三丁目五番地から東五條通り十六番地山形屋へ▲安達二十三氏 陸軍新官舍から錦町四丁目廿三番地へ▲及川正助氏 中央通り四十二番地から羽衣町四丁目二番地ノ二號へ▲大野清藏氏 滿洲測量部地形部から建築助成株式會社內

出生

▲吉村高氏（花園町四丁目三番地五十九號ノ二）長女園江さん二十五日出生▲增田國作氏（花園町三丁目四十三番地ノ一號）三女瀧さん二十三日出生▲川越良雄氏（錦町二丁目十番地）長男孝雄さん十六日出生

鏡泊學園遭難者遺族弔慰金募集趣意書

朔風止ミテ薰風漸ク競ハントスル五月十七日前滿洲鏡泊學園總務山田悌一氏ハ部下職員學生ト共ニ吉林省寗安縣公署ヘ出張歸園ノ途鏡泊湖北方大廣嶺ニ於テ匪賊ノ襲擊ヲ受ケ衆寡敵セズ遂ニ全滅ノ悲運ニ遭ヒ雄圖空シク逝カル、山田氏ハ夙ニ國士ノ養成ニ志シ滿洲國ノ建國ヲ見ルヤ直チニ家族ヲ殘シ同志ト共ニ單身渡滿シ日滿要路者ノ贊同ヲ得テ滿洲鏡泊學園ヲ創設シ日夜子弟ノ教育ニ盡スイシ今ヤ漸ク素志ノ貫徹セラレントスルトキ突如トシテコノ兇變ニ遭フ、日滿親善ノ礎石タラントノ斯ノ國家的大事業半ニシテ鏡泊湖畔ノ露ト消エタル前記山田總務以下殉職者ノ英靈ヲ慰ムルト共ニ生前私財ヲ育英ニ捧ゲ盡シ今ヤ余ス所ナク三男四女ノ遺兒ノ教育ハ一ニ未亡人ノ手ヲ俟ツノ外ナキ山田總務遺族ノ子女教育費ノ端ニ資センコトヲ意圖シ有志相圖リ弔慰金ヲ募集セントス

冀クハ諸賢吾等ノ意ノ存スル所ヲ察セラレ何分ノ御芳情ヲ賜ハランコトヲ

昭和九年五月

有志　荒木章　西山政猪　上村哲彌　下德直助

規定

一、御義捐金ハ新京東一條通五十八番地滿洲鏡泊學園新京事務所ニ御申込下サレタキコト
一、御申込ノ時「一般弔慰金」又ハ「山田總務子女教育費」ト御指定下サレタキコト
一、分配ノ方法ハ滿洲鏡泊學園理事會ニ委託ノコト
一、速ニ遺族ニ送附致度ニ付可成早ク御申込下サレタキコト

弊學園殉難者總務山田悌一幹事今井和佐久指導員樹下清學生龜澤貞雄、武田六藏、後藤宇三郎、室田隼夫、菅原寅雄以上八名ノ遺骨來二十九日午後四時新京驛到着祝町太子堂ニ安置仕リ三十一日（木曜日）午後三時ヨリ神式ニ依リ同所ニ於テ告別式相營ミ申候間茲ニ謹告仕候

滿洲鏡泊學園新京事務所 所長 宗村傳喜

雨季を前に

お子さんの靴は……

◇……足を濡らすと病の因

◇…梅雨…供の通學には着物の外に、靴、靴下について注意していただきたいと思ひます、靴の中に水が入るやうなことはないかよく調べ、もし入らないにしても雨の中を歩くとどうしても濕りますから出來るなら二足位を代る代るはかせたいことです

◇…ゴムの長靴も重寶ですがこれだと空氣が入らないため中で歩いてゐる間にムレますからゴムの時はきつとハキカへの靴下を持たせて學校へついたらハキカへさせます、勿論革の靴でも足の上まで濡れたらすぐ靴下はかへさせることです、足を濡らすと風邪をひきやすくし脚氣のもとにもなりますから

富士屋タクシー修理工場を見る

一記者

最近めきめきと賣り出した蓬萊町富士屋自動車工場を視察すべく二十四日晝下り訪ねて見る、空地から工場内は大手術、小手術のトラックや病氣入院と言つに乘用、扨てはオートバイからリヤカーに至るまで所狭き迄に詰めかけてゐる作業服姿の職工ばかりで工場長か誰だか、職工長がどの人だか見當がつかぬ、奥まつた處の事務所に飛込んで漸く作業服油だらけの米川工場長に面會した、工場長はマイクルメータを片手にシリンダーボーリングを説明して與れる

□

三菱製のシリンダーマシンが電動力によつて軋ひ音を立てて廻轉して居る、其の隣には職工長が職工を指揮してダイナモの卷替をやつて居る何しろ三十余人の職工と事所員數名が職場の樣に右往左往して働いて居るガンガン鐵板を叩く音臭い鼻をつく香がして來る、ボデーのラッカー塗裝だエーヤーコンプレサーに依つて塗料を霧の樣に吹き出して居る顔の寫る樣な光澤に仕上げられ金マークの塗込だ、清楚な姿をして出て行く退院の自動車もある、内張工は糸屑だらけになつてミシンを掛けて居る、テレンプヤモケット張が多いとの話しトラック用ではレザー張りだと云ふ

□

三つに仕切つた工場内はどこを歩いても自動車の下から足ばかりが四方に出てゐる、自動車の下側に這込んで働いて居る職工達の足だ、木工が鉋の音を立ててボデーの製作をして居るかと思へば、瓦斯熔接のヒューズから白い光を出して目を射られる、向ふ槌をしつかり飛ばしてトンテンカンをやつて居る組もある、百ワットの電球が白晝數十個も燈されて細部々々に掛けて居るエンジンの組立に掛つて居る職工もあれば此のガンガンやかましい中で默然とナンバープレートに字を書いて居る者もある、滿洲國の五色のマークを眞鍮板で作つて居る職工もある、何から何まで機械の活動は電氣だ穴一つ拔くのも砥石を掛けるのも人手は不用日本の工業も實際進化したものだと感心する、とても此處では話しも聞けぬので、二階の應接室に落着く、二階はタクシー部の事務室、運轉手溜、奥まつた一室が工場長の室だ何さまお見掛け通りでと目顔し工場長は語る

□

自動車の最も大切な處はエンジンと電氣で人体でいへば内臓に匹適するもので、幸ひ當工場にはエンジンと電氣の熟練工が六名居りますし特殊工として間張工、木工塗裝工等で何れも專門職工が居りますのでお得意樣に絶對御滿足して戴く決心で居ります、あとは組立工で相當經驗ある職工揃ひで出來上れば必ず職工長か又は私が一應點檢して御渡しする樣にして居ります、實は自動車の鑑定に今朝から再三電話が掛つて來て居りますので只今から行かなくてはなりませんので惡知不、と仲々卒直だ、因に朝は六時出勤午後五時閉場とあるが設備其他實に統制を得た新京唯一の自動車工場と感心して引揚げた

「寫眞は工場長米川氏」

御婦人方の眼鏡の選び方

ウッカリすると粧美を損ふ

△…ミ眼を中心にして云ひますと、細いやさしい感じの眼でしたらふちなしでなく細いまだら斑のべつ甲縁がふさわしく強い目の人でしたら白色に近いセルロイドの細縁を用ひますと柔かみが出ます、ふちなしはあまり感心しません

△…一般に美容上どんな眼鏡がいいかといふに平べつたい低い鼻の顔でしたら縁なしの眼鏡が一番おかしくないやうです、特に日本人のやうに變化のない顔にはよく合ひますし黒いベツ甲ぶちの眼鏡のやうにフクロのやうな感を與へません、さうでない場合は細い金ぶちが無難です

海の外から

早老の第一要素は 戀愛苦勞だ

米國コロンビア大學心理學教授、ピッキトン氏は此の程一萬人の成功者を肉体、精神兩方面から精密に鑑査した結果「人生は四十から」の學術的證左を發表した、即ち肉体及精神の疲勞は人間を早老に導くものなることを言明し、戀愛による心身の疲勞が最も人間を早老期に入らしむ要素を多分に含んでゐると附言してゐる

ラヂオ波は 光波速度と同樣

巴里學士院會はラヂオ波の速度は光波速度と同樣一秒間卅萬粁なる旨發表した

髮ピンのお目見得 ネオンサイン入り

米國で思ひ切つて先端を行かうとする若い婦人連の間には此の頃チョイチョイネオンサイン入りの髮ピンをさしてゐるのを見受ける、つまり夜の都を代表するネオンライトを極く小さな裝置に變造しピンの髮内に入る底部に仕掛けて適當な光を發する樣に出來たもので、あちらで先端の白眉となつてゐる

相同双生兒故に 罪なき弟を檢擧

米國羅府居住の相同性双生兒ルチオ、ゴデイナ兄弟は臂の一部がつながつてゐるが兄が自動車運轉中交通事故を起した廉で檢擧された爲め弟まで出頭判決を受けねばならぬこととなつた

本社特選 名士圍碁對局（二十五）

互先先番

元、山梨縣知事、代議士 加藤平四郎

政友會三多摩重鎭、聯珠四段 小島幸藏

〇八二 ろ十七
●八三 に十六
〇八四 は十七
●八五 は十五
〇八六 ほ十六
●八七 ほ十四
〇八八 と十六
●八九 ぬ十五
〇九十 れ十三
●九一 た十四
〇九二 る十
●九三 る十一
〇九四 ぬ十一
●九五 を十一
〇九六 ぬ十二
●九七 る十三

本日〇八二より●九七まで

觀戰記

雲玉山人

白（後手）の七六、七八は自軍の意志に反した叛逆の心ではなかつたであらうが、要するに白は中央を目指して、軍勢を進めてゐたに、途中其の心を變して、六八以下に馬を進めたのは、先づ影勁の實戰に狂ひを生じた形ちで、此の際、平素の小島氏に似合しからぬ、心の動きであつたと思ふ。然し、中央を目指すより解隅を狙ふ方が、得策である事は論を俟たない。白の途中心境の變化は其の所以か？

主婦のメモ

役に立つ 夏ミカンの皮 お握りも出來る

夏蜜柑の皮は色々利用されてゐますが比較的効用の多い新しいものをおしらせしませう

△…味噌の中へ二個分程入れ[illegible]瓜や、茄子、大根等の漬物に移つて、糠漬とは思はれない風味を貯へ、丁度レモン酢でもかけて召上る程になります ただこれは時折り入れ變へる必要があります

△…又お大根キャベーヂ等の鹽漬けや三杯漬けにせん切りにして漬け込みます、風味をよくします、微塵切にして當り鉢でよくあたり、奴豆腐の香りつけになさつたり、又はお茄子のしぎ燒、味噌にすり混ぜたり、すましに入れたりしても風味良くいただくことが出來ます

△…生のときせん切りにしてからからに乾して置き、砂糖で煮つけても、黒豆や大豆、混布等を煮る時少量づゝ入れても珍味です、内側の皮を去つて氷に煮込めば氣の利いたジャムも出來ます、そしてもう一つ寒天を水と砂糖で煮とかして、苺や櫻桃等を入れたものを、なるべく大きな二つ割の皮の中へ流し込んで固めて置き、子たちにおすゝめになれば大變珍らしがります

ラヂオ

二十九日（火曜）新京

午前一一時四〇分 ニュース（日滿兩語）
同 一一時五九分 時報
　滿洲音樂レコード
午後 〇時五分 經濟市況（奉天より日滿兩語）
同 一時〇分 演藝（滿）西群仙 銀子
同 三時二〇分 ニュース（日滿兩語）
同 三時三〇分 經濟市況（奉天より日滿兩語）
同 四時三〇分 ニュース（滿）
同 四時四〇分 ニュース（鮮）
同 四時五〇分 ニュース（英）
同 五時 〇分 子供の時間
同 五時三〇分 時事解説（滿）
同 五時五五分 番組予告（滿）氣象豫報
同 六時 〇分 ニュース（東京より）
同 六時二〇分 滿洲語講座 講師 高宮盛逸
同 六時四〇分 日本語講座 同 植松金枝
同 七時 〇分 義太夫（東京より）日比谷公會堂より中繼
壇浦兜軍記（阿古屋琴責めの段）
遊君阿古屋 竹本土佐太夫
畠山庄司重忠 竹本津太夫
岩永左衛門 豐竹古勒太夫
榛澤六郎 竹本錣太夫
三味線 野澤吉兵衛
ツレ彈 竹澤團六
琴 鶴澤友平
胡弓 野澤市松
同 八時一〇分 歌謠曲（東京より）日比谷公會堂より中繼
唄 豆千代
三味線 三代吉
同 喜美榮
伴奏 コロムビア、オーケストラ
一、夢の浮橋 島田芳文作詞 江口夜詩作曲
二、こころ意氣 西條八十作詞 佐々木紅華作曲
三、戀はひとすじ 西條八十作詞 佐々木紅華作曲
四、ホホほんとに 佐藤惣之助作詞 佐々木紅華作曲
五、木曾路戀しや 佐藤惣之助作詞 佐々木紅華作曲
同 八時三〇分 時報 ニュース（東京より）
同 八時四五分 ニュース 氣象豫報、番組豫告
同 九時 〇分 演藝（滿）
引續きニュース（滿）

結核療養の本道たる
綜合榮養療法

わかもと

胃腸榮養

專賣特許

結核療法

の本道は、一八五九年獨逸の結核病理學者ブレーメル、及びデットワイレル兩氏の提唱せる、サナトリウム療法に盡きるといはれる。その骨子とする所は、所謂自然療法にあり、榮養を增進すると同時に大氣日光に親しんで新陳代謝機能を亢め、以て人體本具の治癒能力が自ら發揮して病原を征服するを待つものである。

その爲には榮養機能の根幹たる、消化管の健全が最も必要であるが、結核病竈に產出する菌毒素が消化管中樞を刺戟する結果、食慾不振、消化不良、引いては慢性下痢、常習便秘等を惹起し、榮養の攝取不能

體力衰弱

を來すのみならず、菌毒素の障碍は、溫中樞、發汗中樞等にも及んで、執拗なる發熱、盜汗等の不快なる症狀を隨伴するを以て、患者は勿論醫師すらも、自然療法に安んずるの困難を感ずる。

かゝる場合にヘーフエ菌劑「わかもと」を投與すれば、發熱、盜汗等の不快なる症狀は漸次輕減消失に趣き、榮養作用は活潑となり人體本具の治癒能力は發揚の機會を得て自然療法の目的を達し得るに到る。

これは幾多の臨床的實驗が立證する所であつて、「わかもと」中の如何なる成分がかゝる效果を發揮するかは、未だ闡明し盡されないが、これを諸方面の實驗に徵するに先づ「わかもと」が含有する十數種の活性酵素より體組織特に

胃腸組織

に再生の活力が與へられ、榮養攝取の能力を著しく活潑ならしむること、及び脂肪、蛋白、アミノ酸、グリコゲン、燐、鐵、カルチウム、ヴイタミンA、B、D、E等のきはめて廣汎なる榮養素、造血素を具有して、これが患者の衰弱、貧血を恢復し、全身の榮養狀態を亢め得ることは明らかである。

特にサー・ホプキンス博士等によりて立證された、ヘーフエ蛋白中のグルタチオンが、網狀織內系統機能を亢進して、血中に結核抗菌素コレステリンの含量を增加せしめ、ヌクレインが白血球細胞を增殖して

喰菌作用

を旺盛ならしめることと及び「わかもと」の如き純正ヘーフエ菌劑中に、特に豐富なるヴイタミンBが結核抗體の生成に與つて力ある事等も證明せられたる所に屬する。

要するに「わかもと」の效果はこれら有效成分の協力によつて、一方體力、抵抗力の增強を圖り、同時に結核菌の繁殖と菌毒素の障碍とを抑制除去して、本病の治癒を速かならしむるにあり、許多の有效貴重なる成分が天然に綜合せる、生物藥にしてはじめて期待し得る所のものである。

適應症

肺結核　肋膜炎　腹膜炎　腸結核　カリエス　食慾不振　胃腸カタル　慢性下痢　消化不良　貧血・脚氣

藥價低廉

粉末　三〇日量　一圓六十錢

二七〇瓦　四・五〇　五四〇瓦　八・五〇

發賣元　東京市芝公園大門際　株式會社 榮養と育兒の會　電話芝代表(一一七五番)他六本　振替口座東京一七〇〇〇番

海外代理店　三井物產株式會社

醫家に捧ぐる特設欄

臨床醫學の參考資料として海外文獻の粹を選んで譯載

本會がヘーフエ菌劑「わかもと」を治療界に提供して以來、こゝに五周年、今やヘーフエエンチーム療法の普及著しく、官公立醫科大學大病院等においてもさかんに之れが處方せられ、藥用酵母の日本藥局方に收載を見るに至りたるは、偏へに臨床醫家各位の理解ある御協力によるものにて、まことに感謝の至りに絕えず。

本會は感謝の微志を表する一端として、全國主要なる新聞全頁廣告の紙面を割き、醫家に捧ぐる特別欄を設け、海外の貴重なる文獻を譯出紹介せんとす。日新の醫學は新知見、新業績の發表せらるゝもの相踵ぎ、絕えず之に注意を拂ふ必要あるは言を俟たざるところなるが、一々これを蒐集繙讀してその主要なるものを逸せざらんとするは、繁忙なる一般開業醫諸賢の耐ふるところに非ざるべく、本會はよつて多大の經費を投じ海外の醫學刊行物を蒐集し、本社學術研究部においてその粹を拔き、譯載して諸賢の參考と修養に資せんとす。幸ひにしてわが國臨床醫學の發達に多少の貢獻するところあらば、本會の光榮之にすぎず。

小兒結核の病理學的細菌學的研究

1932年英國政府醫事研究委員會特別報告第172號
(The Medical Research Council Special Report Series 172.)

小兒結核は人型結核菌によりても起るが、牛乳により腸管を經て感染する牛型結核菌も相當多くの症例を作つてゐる。然し牛型結核菌による死亡例は比較的少い。骨結核或は關節結核は屢々兩型何れによりても起るが、小兒肺結核は初感染の場合人型結核菌のみによつて起る。小兒結核の初感染の經路に關しては說がまちくである。空氣感染によるとなす說に對して食物による消化管よりの初感染を主張する說があるが、後者は相當有力なる根據を持つてゐる。肺結核は幼時に感染したるものが永く潛伏し後年身體の衰弱に乘じて發病するとする說は大いに贊否夫々の說によりて論議せられて來た。之等の問題の尙確實なる論據によりて菌型と病理學的所見との相關性より觀察して、J.W.Blacklock氏は1932年英國政府醫事研究委員會より發表してゐる。

小兒屍に於ける結核の檢索

1932年英國政府醫事研究委員會The Medical Research-Council の「小兒結核の病理學的細菌學的研究」と題して特別報告を出してゐる。グラスゴーに於ける帝室小兒科病院(The Royal Hospital for Sick Children at Glasgow)に於いて生後數時間の生兒より十三歲に至る小兒に就き、病死たると負傷死たるとを問はず、剖檢的に結核疾患の特別研究を行へり。

1800例の小兒解剖例に就き結核疾患の檢索を行ひしに、283名即ち15.7%に於て著名なる結核病變を證し得たり。中183例に於ては結核菌の證明に成功し、更に53名に於て骨關節系、淋巴系、腎臟に結核病變を證明したり。この283名の大多數は生後第一年にして既に結核感染を受け、而して第二年目の者之に次げり。而も注目すべき事實は之等第二年以內に結核感染の證明を見たる小兒は何れも結核によりて死亡せることとなり四歲より十三歲に至る小兒に於ては結核病竈を見出し得たる總數中75%は結核のために死亡せり。之を加算すれば、283名の結核病變を證明したる小兒屍體中その90.1%が結核を主因にして死亡せるを知る。この283名の小兒中173名即ち61.1%はその初感染を肺或は咽喉淋巴腺に於て見出したり。肺或は咽喉淋巴腺に到る感染經路は所說一定せず、多くの動物實驗に於ける所見は經消化管的に肺、或は頸部淋巴腺への感染の成立を證し得てゐる。

結核の初發病竈の部位

Parrotの所說は人體に於ける結核の發生は一般に肋膜直下に於て起るものとしてゐる。組織學的檢查によるにこの初發竈は屢々結核性氣管支肺炎を誘發せしめてゐる。而してかゝる經過により發生せる氣管支肺炎は大いに增惡の傾向を持つてゐる。のみならず肺門淋巴腺の結核も亦その發生を初期に於て起すとせられてゐる。氣管支淋巴腺は肺病變を伴はざる時獨立して結核に侵される事は少い。更に之を分り易く云へば、肺は相當確然と幾つかの淋巴系に分たれその或物はその隣接氣管支淋巴腺或は肺門淋巴腺に接續してゐる。

而して之等淋巴腺個々は相隣のものと雖も交通は少い。Blacklock教授によるに183例中146例は頸部淋巴腺を經路として肺に最初期病竈を形成したるものであると云ふ。その病竈は何れも乾酪化を示し更に空洞形成のファイブロージス、石灰化等夫々結核各期の病變を呈せるを見た。之等幼兒結核に於ても右肺は左肺に比し多くの病變を呈せりと云ふ。

空氣傳播による直接感染

之を各肺葉順に變化を擧ぐれば右上葉、右下葉、左上葉、左下葉、右中葉の順である。氣管支淋巴系のこの初期病變に對する關係は一般に不明である。初期感染竈がその感染を血管系よりするや或は淋巴系よりするやに就ては決定すべき根據がない。然しBlacklock教授はこの肺の初感染をむしろ空氣傳播による直接感染ならんとの私見を述べてゐる。教授は88例に於て初發感染を消化管系に於て見出し、而もその中54名は牛型結核であり僅に12名が人型結核であつた事を證明してゐる。これに對し一方肺の初感竈に見出さるゝものが何れも人型菌のみなる事より血行系には結核の體內傳播は否定すべきであると考へられる。空氣感染の可否定すべからざる事實は頸咽喉部淋巴腺に初感染を有せし107例の初檢屍兒屍中92例(86%)は市內に生れたる小兒であつた事である。即ち人口の稠密が如何に恐るべきかを敎へるものである。

283例中101例(35.7%)はその初發結核感染竈を腹部淋巴腺に持つてゐる。殊に注目すべきは何れも五歲以下の小兒であつたが、十八例に於て結核性腸潰瘍の存在を見た、滿一歲以下の乳兒屍で腹部淋巴腺結核を證明せるものは何れも牛乳感染兒である。殘り83名は何れもその結核竈を就中腹部淋巴腺中殊に下部に相當する大網膜淋巴腺中に多く持つてゐた。此等滿一歲以下の腹腺淋巴腺結核を有する小兒の結核による死亡率は腹部のそれに比しては低く71%である。之等腹部に初感染竈を有するものゝ中12名が人型結核菌により54名が牛型結核菌によつて起つてゐた。

乳兒の人型結核感染率は第9ヶ月より第18ヶ月に到る間に急劇に增加する。之は發育に伴ふ匍匐等のために起る不潔を物語るものである。